

## 2. アンケート結果（平成30年調査集計結果）

### 1. 回答者の属性

#### （1）性別（問1）

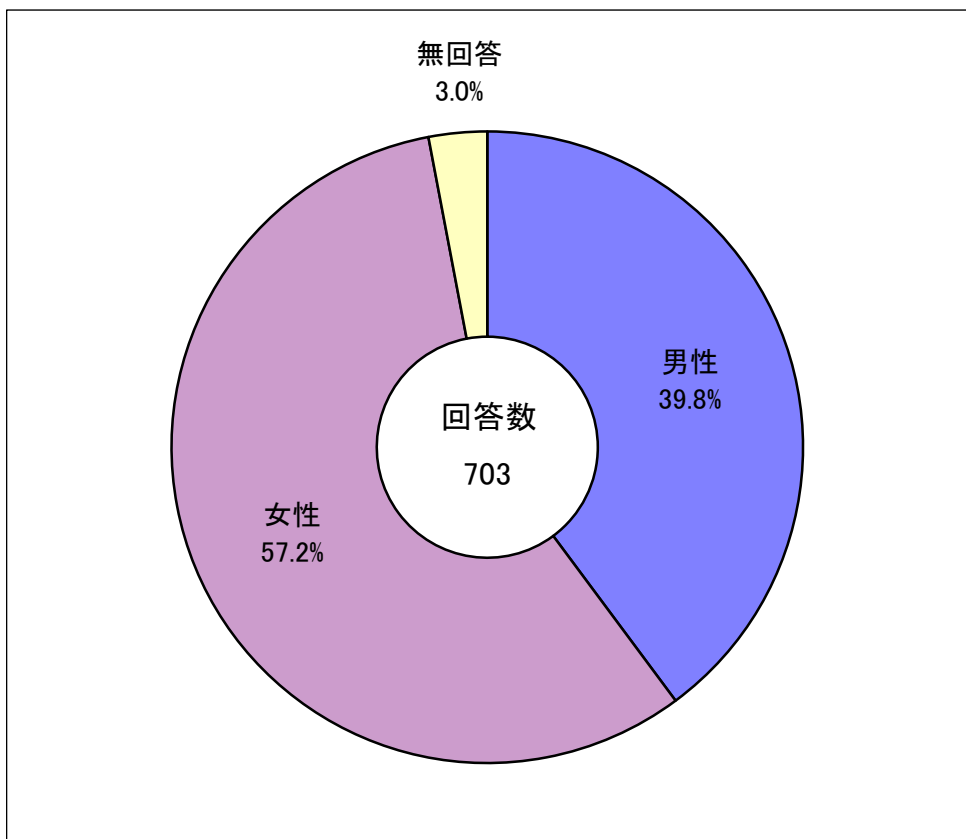
##### ●女性の回答者が約6割

回答者の性別は、「女性」が57.2%と約6割を占め、「男性」は39.8%と約4割を占めています。

表 2- 1 回答者の性別

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	男性	280	39.8%
2	女性	402	57.2%
—	無回答	21	3.0%
—	計	703	100.0%

図 2- 1 回答者の性別



(2) 年齢 (問2)

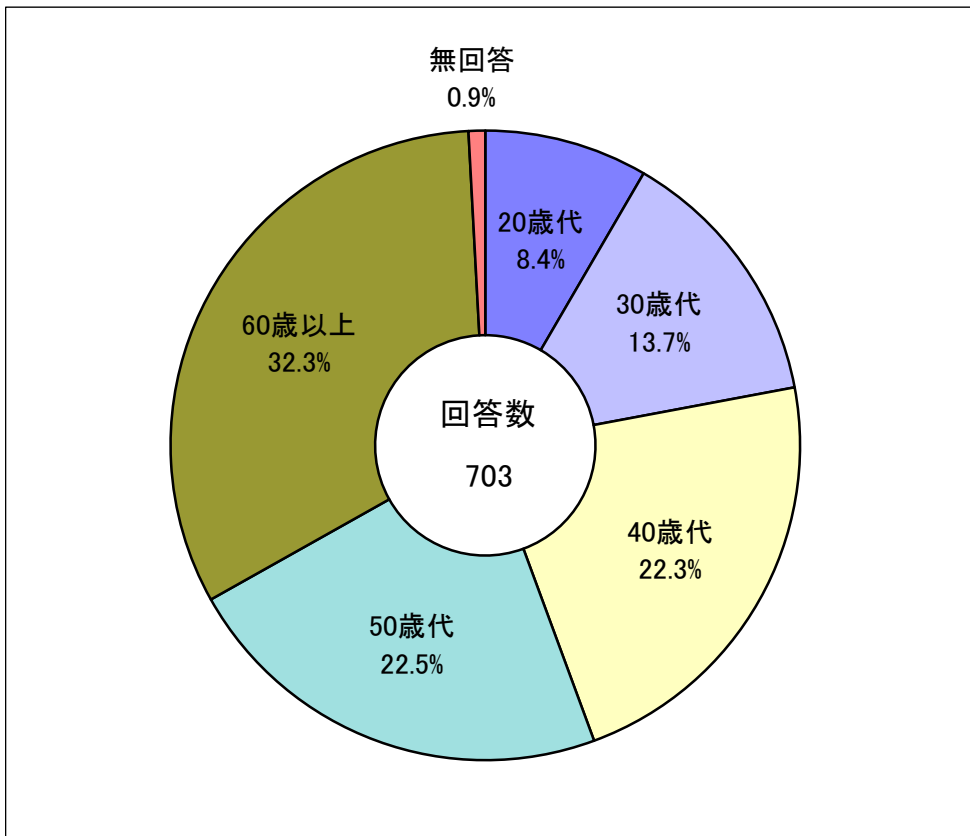
● 60歳以上が回答の約3分の1

回答者の年齢は、「60歳以上」が32.3%と約3分の1を占めています。次いで、「50歳代」の22.5%、「40歳代」の22.3%となっています。

表 2- 2 回答者の年齢

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	20歳代	59	8.4%
2	30歳代	96	13.7%
3	40歳代	157	22.3%
4	50歳代	158	22.5%
5	60歳以上	227	32.3%
—	無回答	6	0.9%
—	計	703	100.0%

図 2- 2 回答者の年齢



(3) 家族構成 (問3)

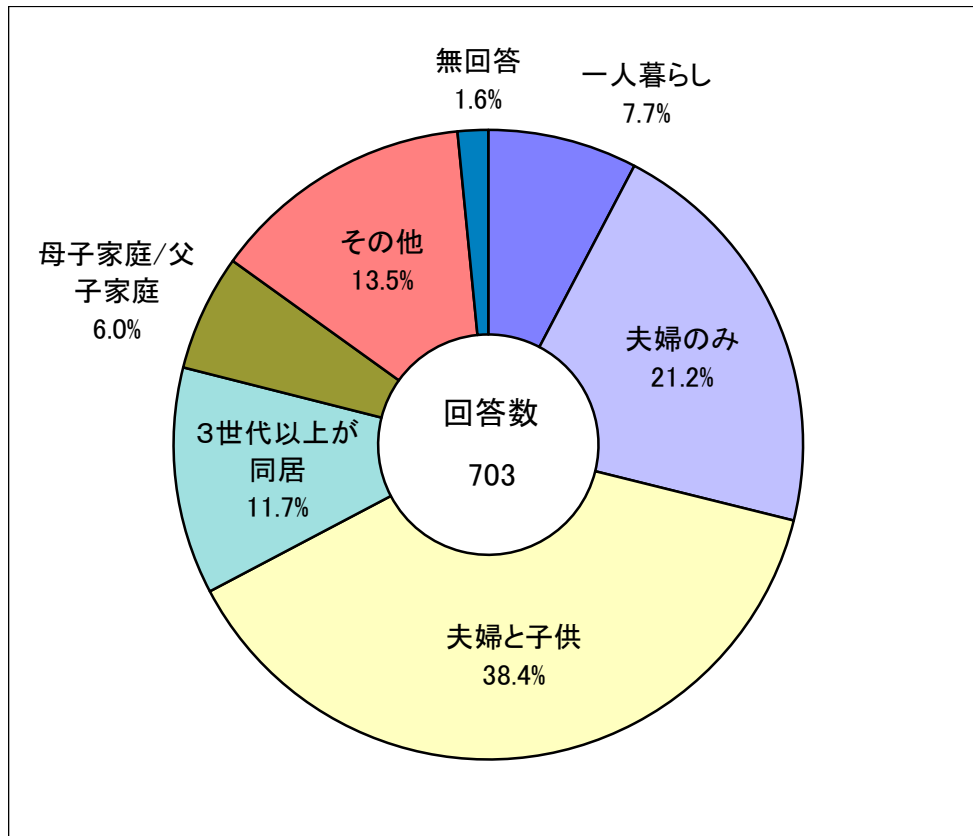
- 「夫婦と子ども」の世帯が約4割。「夫婦のみ」の世帯が約2割

回答者の家族構成は、「夫婦と子ども」が38.4%と約4割を占め最も多く、次いで「夫婦のみ」の21.2%、「その他」の13.5%となっています。

表 2- 3 回答者の家族構成

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	一人暮らし	54	7.7%
2	夫婦のみ	149	21.2%
3	夫婦と子供	270	38.4%
4	3世代以上が同居	82	11.7%
5	母子家庭/父子家庭	42	6.0%
6	その他	95	13.5%
—	無回答	11	1.6%
—	計	703	100.0%

図 2- 3 回答者の家族構成



(4) 居住地区 (問4)

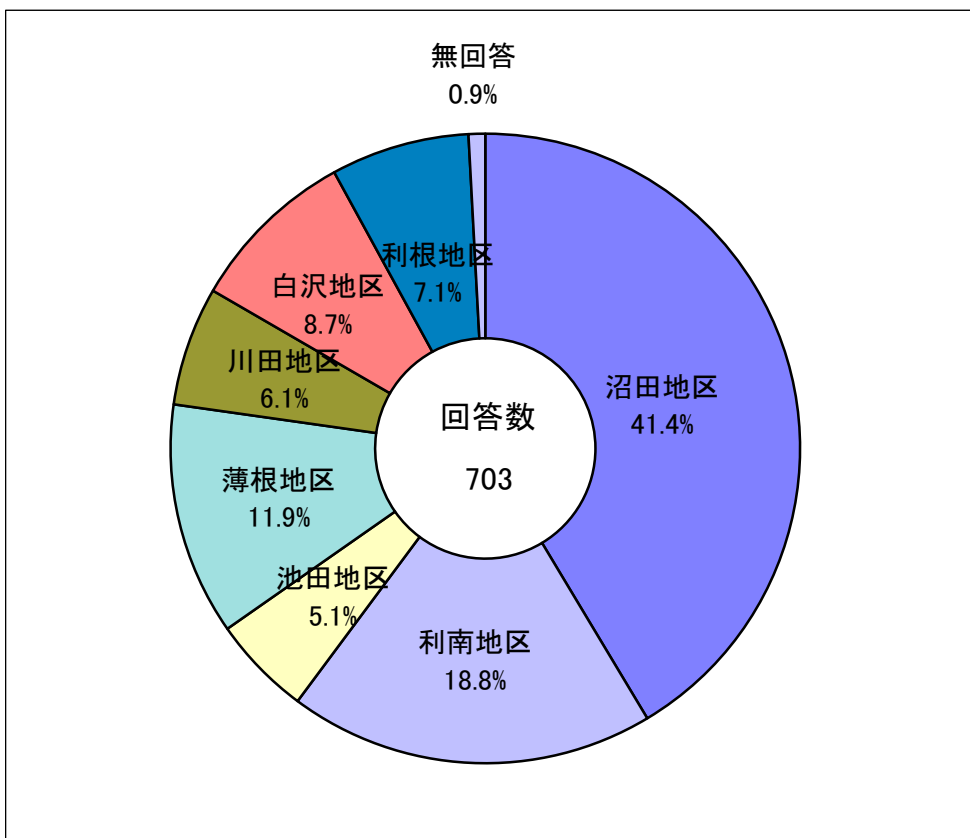
● 沼田地区が最も多く、利南地区、薄根地区が続く

回答者の居住地区は、「沼田地区」が41.4%と4割を超えています。次いで、「利南地区」の18.8%、「薄根地区」の11.9%となっています。

表 2- 4 回答者の居住地区

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田地区	291	41.4%
2	利南地区	132	18.8%
3	池田地区	36	5.1%
4	薄根地区	84	11.9%
5	川田地区	43	6.1%
6	白沢地区	61	8.7%
7	利根地区	50	7.1%
—	無回答	6	0.9%
—	計	703	100.0%

図 2- 4 回答者の居住地区



(5) 職業 (問5)

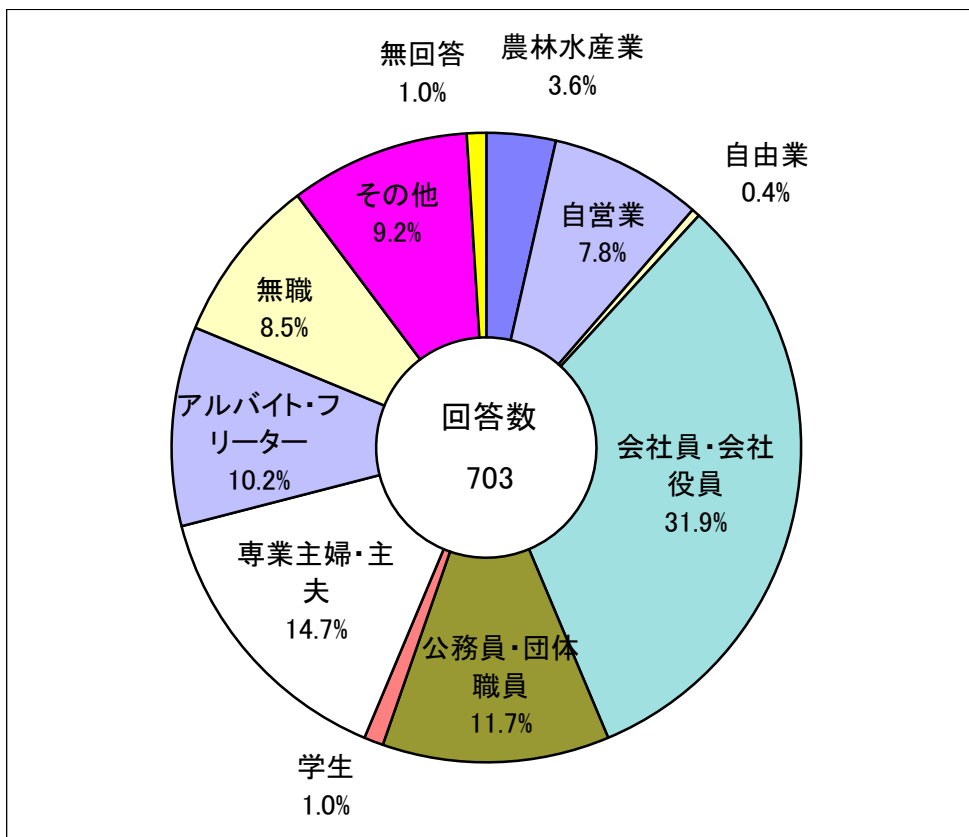
●会社員・会社役員が最も多い

回答者の職業は、「会社員・会社役員」が31.9%と3割を超えています。次いで、「専業主婦・主夫」の14.7%、「公務員・団体職員」の11.7%となっています。

表 2- 5 回答者の職業

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	農林水産業	25	3.6%
2	自営業	55	7.8%
3	自由業	3	0.4%
4	会社員・会社役員	224	31.9%
5	公務員・団体職員	82	11.7%
6	学生	7	1.0%
7	専業主婦・主夫	103	14.7%
8	アルバイト・フリーター	72	10.2%
9	無職	60	8.5%
10	その他	65	9.2%
—	無回答	7	1.0%
—	計	703	100.0%

図 2- 5 回答者の職業



(6) 居住年数 (問6)

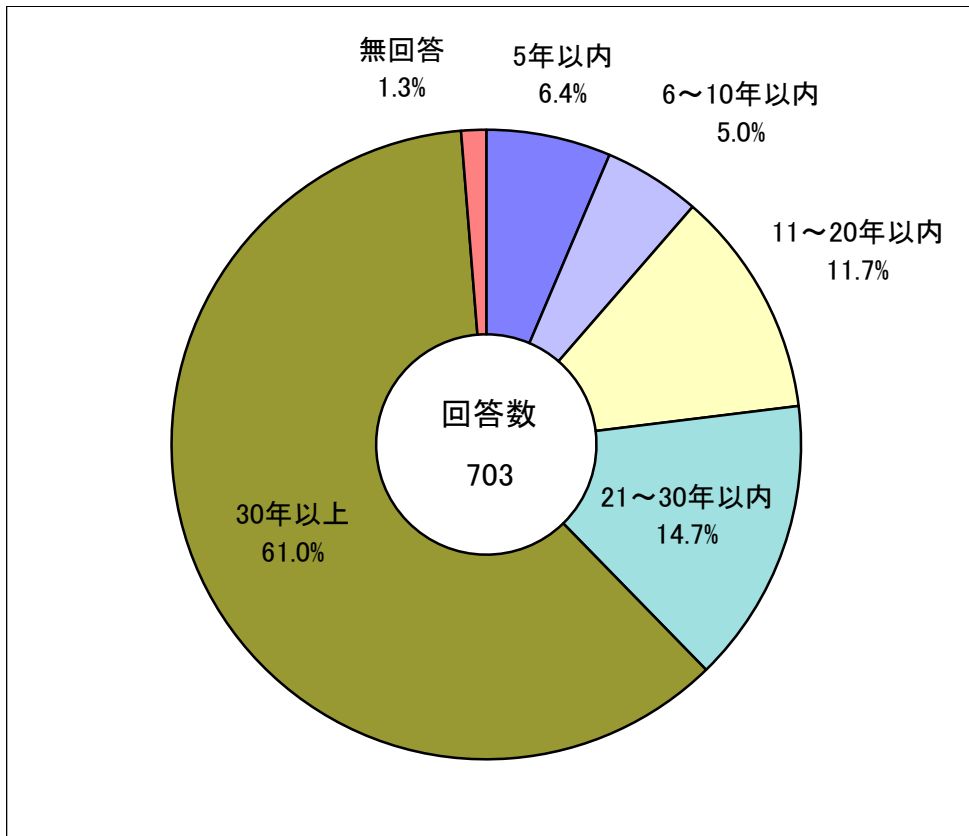
●30年以上の長期居住者が回答の6割を超える

回答者の市内居住年数は、「30年以上」が61.0%と6割を超えて最も多くなっています。次いで「21～30年以内」の14.7%、「11～20年以内」の11.7%となっています。

表 2- 6 回答者の居住年数

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	5年以内	45	6.4%
2	6～10年以内	35	5.0%
3	11～20年以内	82	11.7%
4	21～30年以内	103	14.7%
5	30年以上	429	61.0%
—	無回答	9	1.3%
—	計	703	100.0%

図 2- 6 回答者の居住年数



(7) 居住理由 (問7)

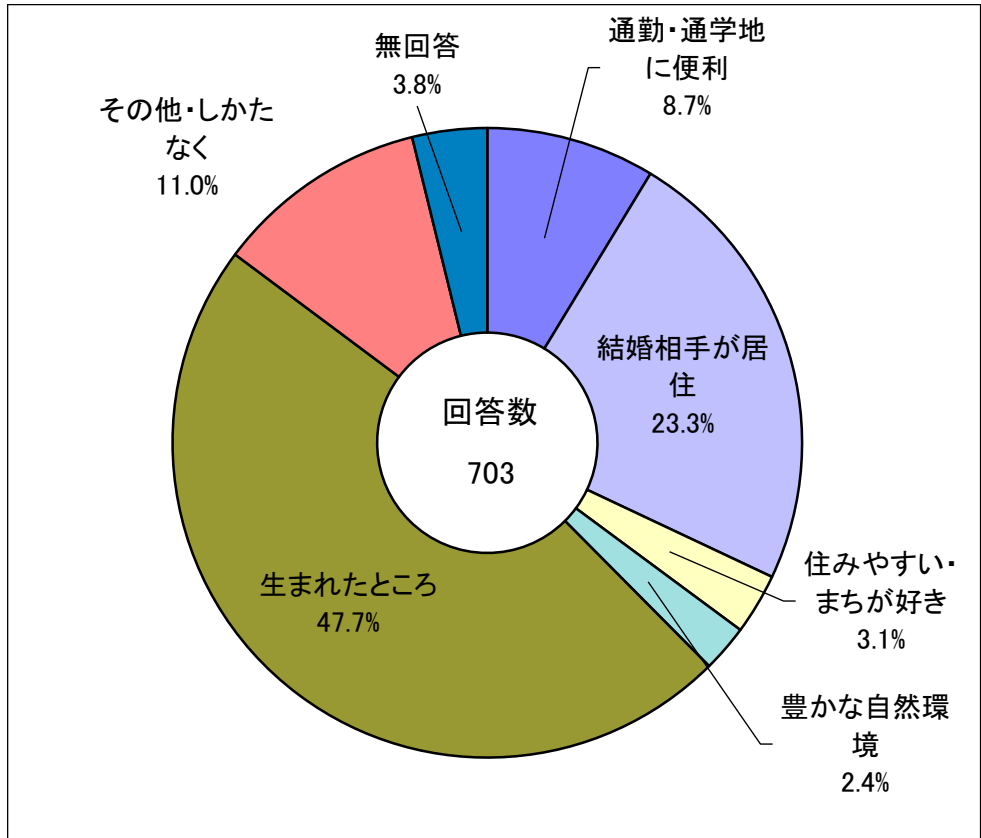
- 約半数が「生まれたところ」。次いで「結婚相手が居住」が多い

回答者の居住理由は、「生まれたところ」が47.7%と約半数を占めています。次いで、「結婚相手が居住」の23.3%、「その他仕方なく」の11.0%となっています。

表 2- 7 回答者が沼田市に住む理由

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	通勤・通学地に便利	61	8.7%
2	結婚相手が居住	164	23.3%
3	住みやすい・まちが好き	22	3.1%
4	豊かな自然環境	17	2.4%
5	生まれたところ	335	47.7%
6	その他・しかたなく	77	11.0%
—	無回答	27	3.8%
—	計	703	100.0%

図 2- 7 回答者が沼田市に住む理由



(8) 居住継続意向 (問8)

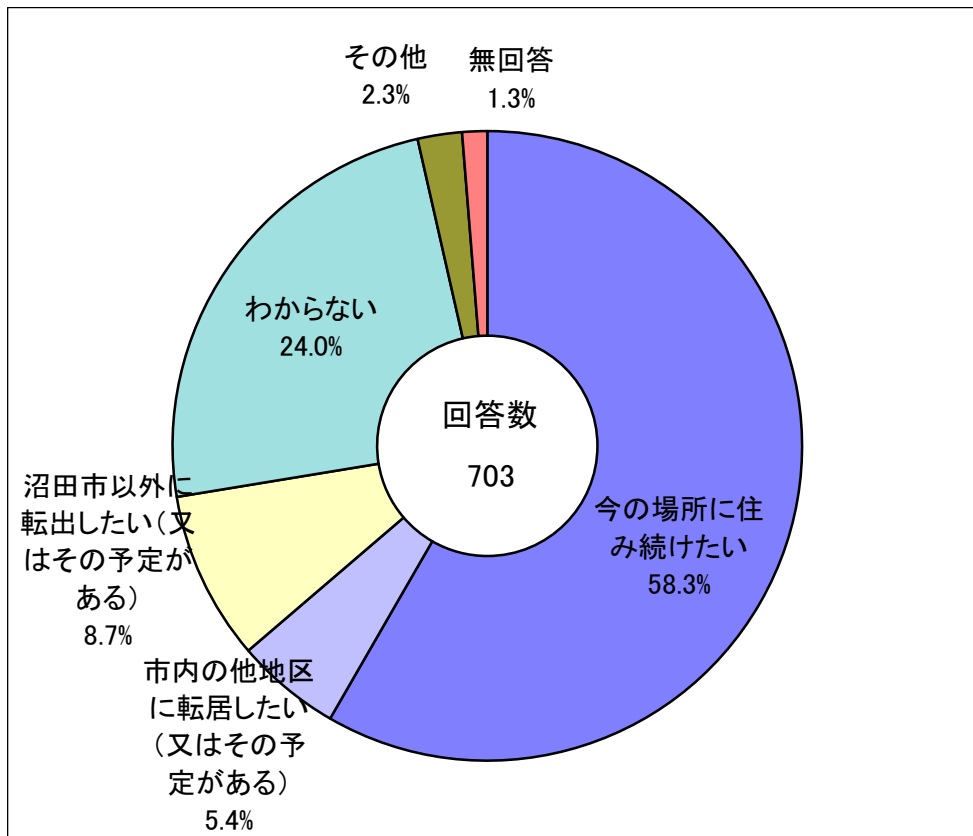
●約6割が今の場所に住み続けたい

回答者の居住継続意向は、「今の場所に住み続けたい」が58.3%と約6割を占めています。次いで、「わからない」が24.0%、「沼田市以外に転出したい(又はその予定がある)」の8.7%となっています。

表 2- 8 回答者の沼田市への居住継続意向

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	今の場所に住み続けたい	410	58.3%
2	市内の他地区に転居したい(又はその予定がある)	38	5.4%
3	沼田市以外に転出したい(又はその予定がある)	61	8.7%
4	わからない	169	24.0%
5	その他	16	2.3%
—	無回答	9	1.3%
—	計	703	100.0%

図 2- 8 回答者の沼田市への居住継続意向





(9) 最寄りの鉄道駅までの距離 (問9)

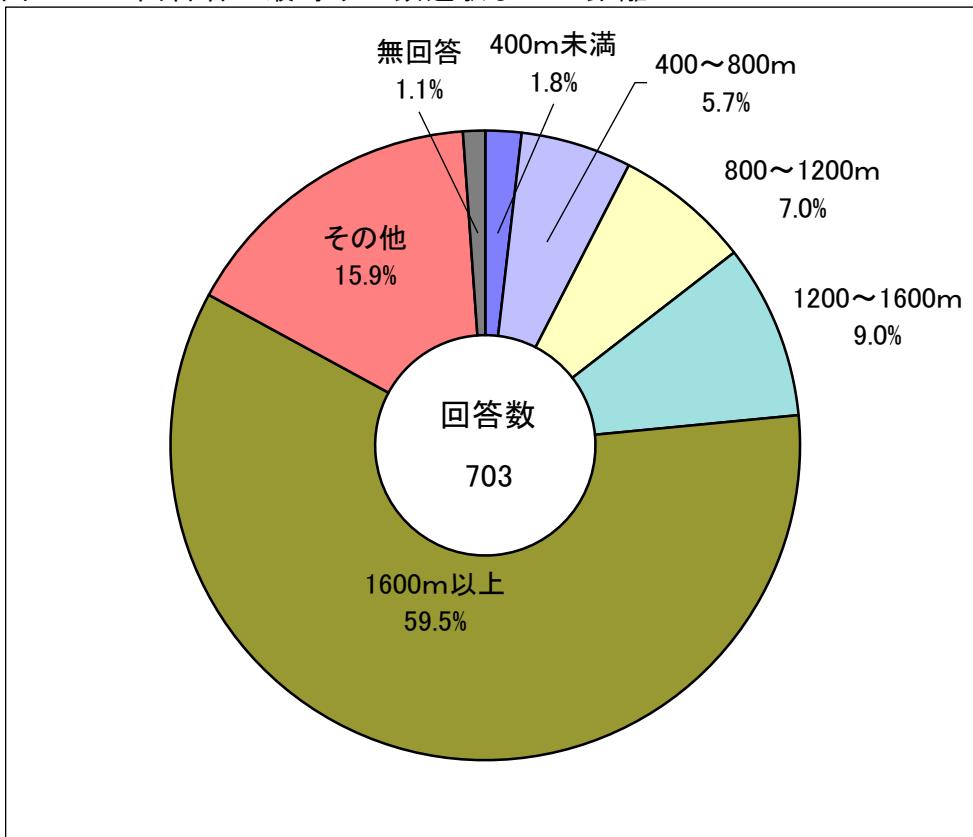
●1600m以上離れている回答者が約6割

回答者の居住場所から最寄りの鉄道駅までの距離は、「1600m以上」が59.5%と約6割を占め最も多くなっています。次いで「その他」の15.9%、「1200～1600m」の9.0%となっています。

表 2- 9 回答者の最寄りの鉄道駅までの距離

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	400m未満	13	1.8%
2	400～800m	40	5.7%
3	800～1200m	49	7.0%
4	1200～1600m	63	9.0%
5	1600m以上	418	59.5%
6	その他	112	15.9%
—	無回答	8	1.1%
—	計	703	100.0%

図 2- 9 回答者の最寄りの鉄道駅までの距離



(10) 最寄りのバス停までの距離（問 10）

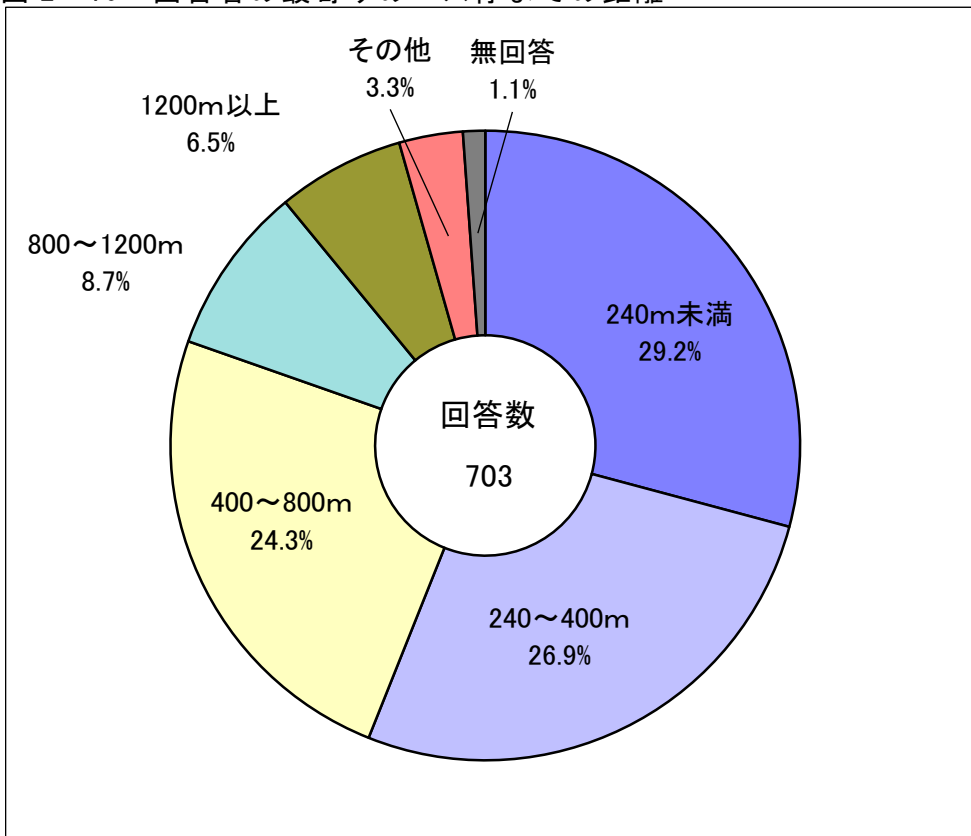
●240m未満の距離が回答者の約3割

回答者の居住場所から最寄りのバス停までの距離は、「240m未満」が 29.2%と約3割を占め、僅差で最も多くなっています。次いで「240～400m」の 26.9%、「400～800m」の 24.3%となっています。

表 2- 10 回答者の最寄りのバス停までの距離

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	240m未満	205	29.2%
2	240～400m	189	26.9%
3	400～800m	171	24.3%
4	800～1200m	61	8.7%
5	1200m以上	46	6.5%
6	その他	23	3.3%
—	無回答	8	1.1%
—	計	703	100.0%

図 2- 10 回答者の最寄りのバス停までの距離



## 2. 行動別の行き先・交通手段

### (1) 通勤先（問 11）

#### ①通勤先・通学先

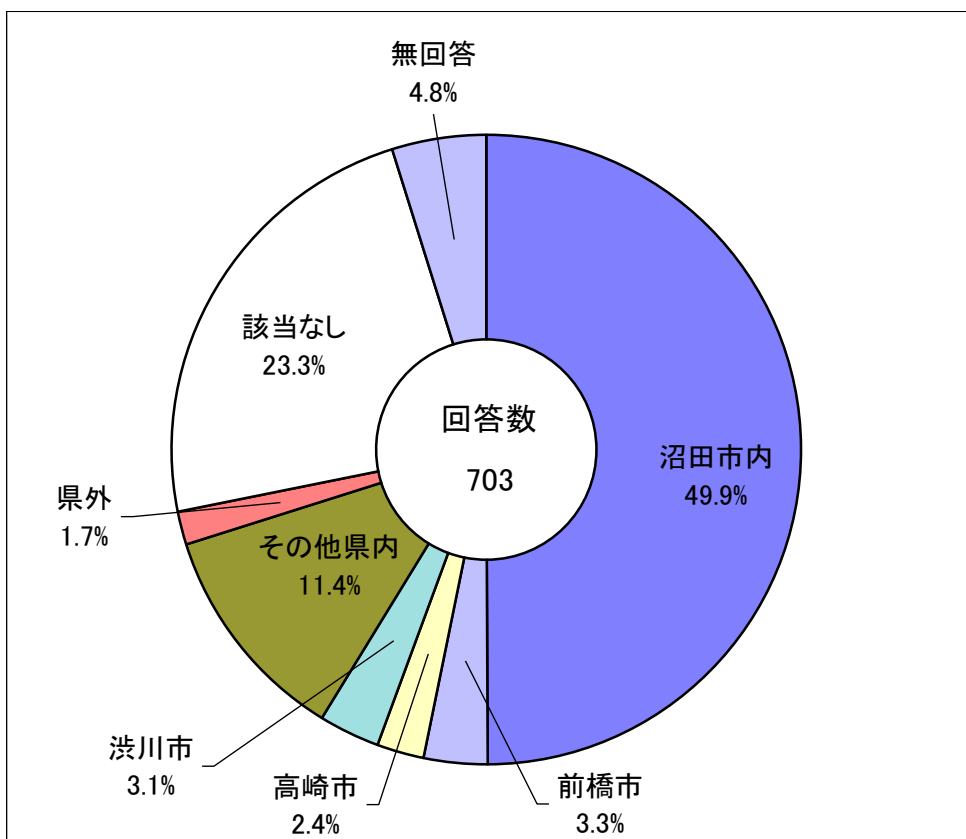
##### ●沼田市内が約半数

回答者の通勤先・通学先は、「沼田市内」が 49.9%と約半数を占めています。次いで、「該当なし」の 23.3%、「その他県内」の 11.4%となっています。

表 2- 11 通勤先・通学先

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田市内	351	49.9%
2	前橋市	23	3.3%
3	高崎市	17	2.4%
4	渋川市	22	3.1%
5	その他県内	80	11.4%
6	県外	12	1.7%
7	該当なし	164	23.3%
—	無回答	34	4.8%
—	計	703	100.0%

図 2- 11 通勤先・通学先



## ②通勤・通学の主な交通手段

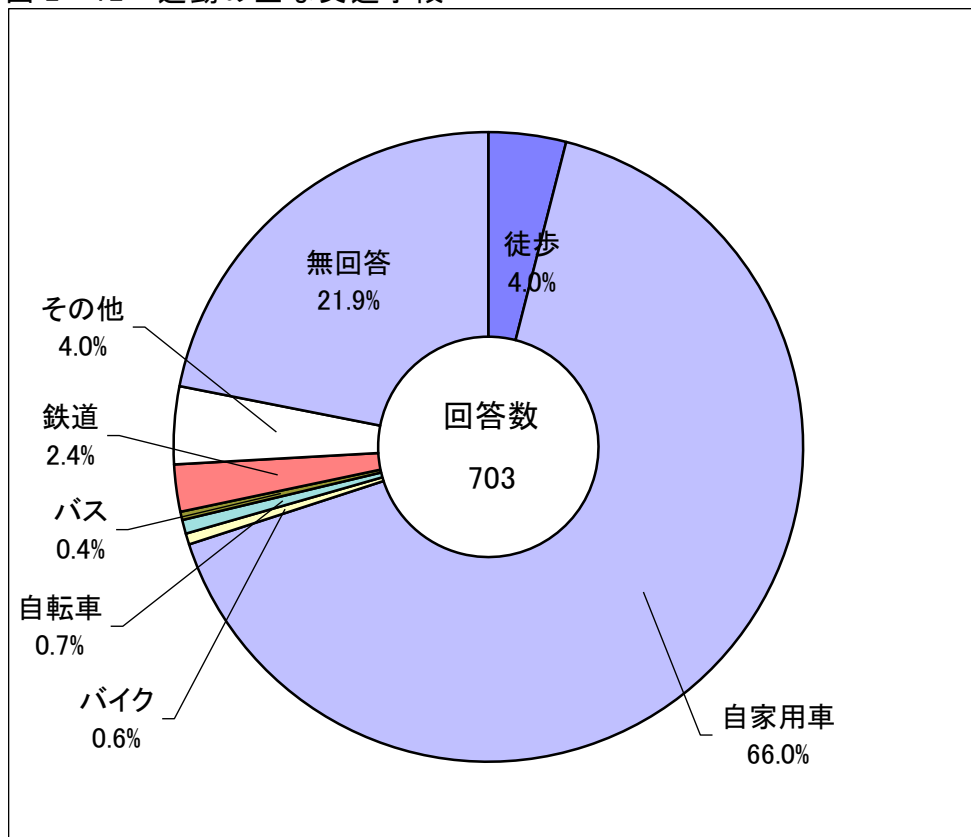
### ●自家用車利用が約3分の2を占める

回答者の通勤・通学における交通手段は、「自家用車」が66.0%と約3分の2を占めています。次いで、「徒歩」の4.0%及び「その他」の4.0%となっています。

表 2- 12 通勤の主な交通手段

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	徒歩	28	4.0%
2	自家用車	464	66.0%
3	バイク	4	0.6%
4	自転車	5	0.7%
5	バス	3	0.4%
6	鉄道	17	2.4%
7	その他	28	4.0%
—	無回答	154	21.9%
—	計	703	100.0%

図 2- 12 通勤の主な交通手段



(2) 食料品や日用雑貨の購入先 (問 12)

① 食料品や日用雑貨の購入先

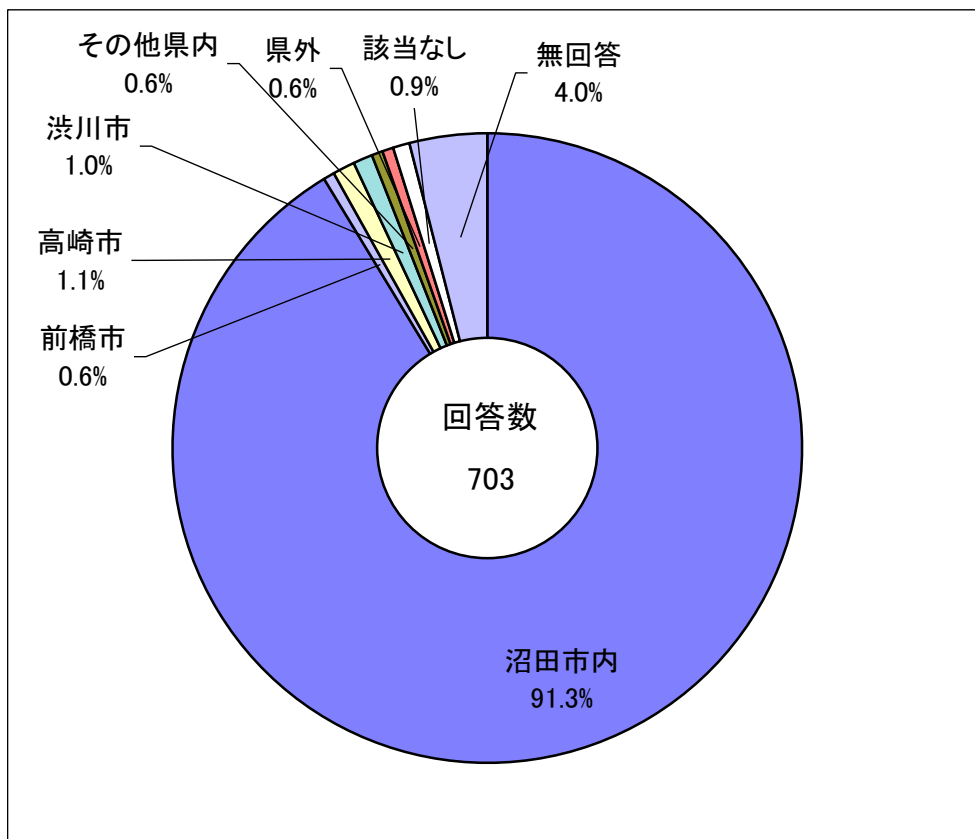
● 沼田市内で9割以上が購入

回答者の食料品や日用雑貨の購入先は、「沼田市内」が91.3%と9割以上を占めています。次いで、「高崎市」の1.1%、「渋川市」の1.0%となっています。

表 2- 13 食料品や日用雑貨の購入先

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田市内	642	91.3%
2	前橋市	4	0.6%
3	高崎市	8	1.1%
4	渋川市	7	1.0%
5	その他県内	4	0.6%
6	県外	4	0.6%
7	該当なし	6	0.9%
—	無回答	28	4.0%
—	計	703	100.0%

図 2- 13 食料品や日用雑貨の購入先



## ②食料品や日用雑貨購入の主な交通手段

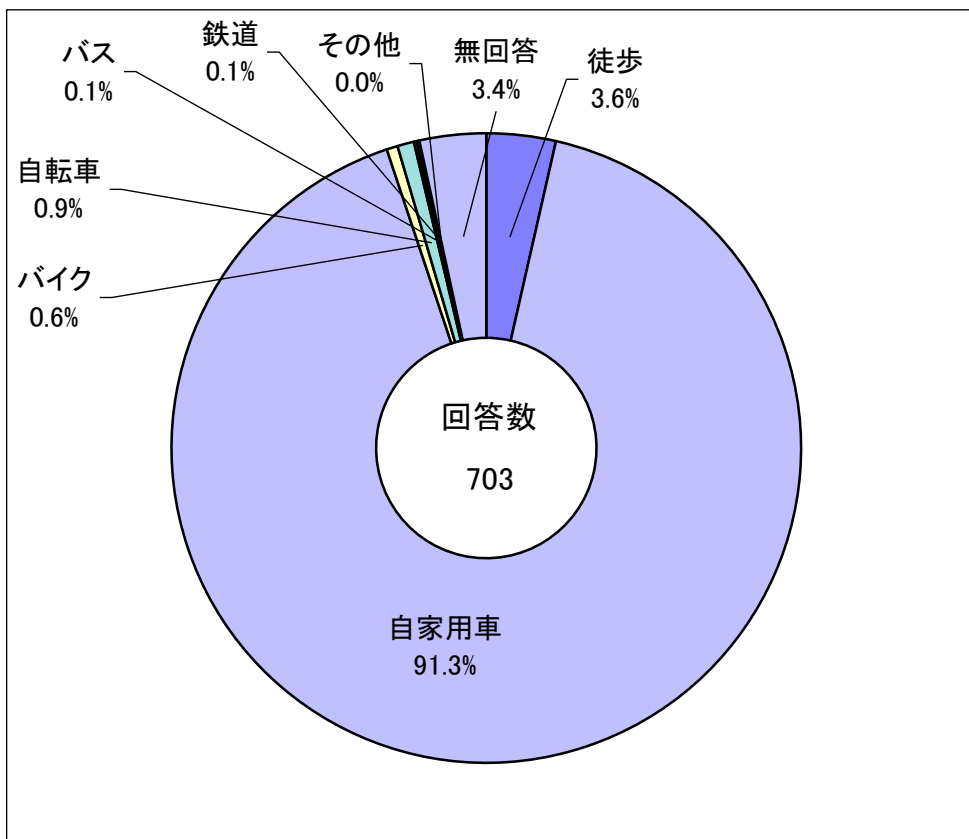
### ●自家用車の利用が9割を超える

回答者の食料品や日用雑貨購入の主な交通手段は、「自家用車」が91.3%と9割を超えています。次いで、「徒歩」の3.6%、「自転車」の0.9%となっています。

表 2- 14 食料品や日用雑貨購入の主な交通手段

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	徒歩	25	3.6%
2	自家用車	642	91.3%
3	バイク	4	0.6%
4	自転車	6	0.9%
5	バス	1	0.1%
6	鉄道	1	0.1%
7	その他	0	0.0%
—	無回答	24	3.4%
—	計	703	100.0%

図 2- 14 食料品や日用雑貨購入の主な交通手段



(3) 家具や家電、贈答品の購入先 (問 13)

①家具や家電、贈答品の購入先

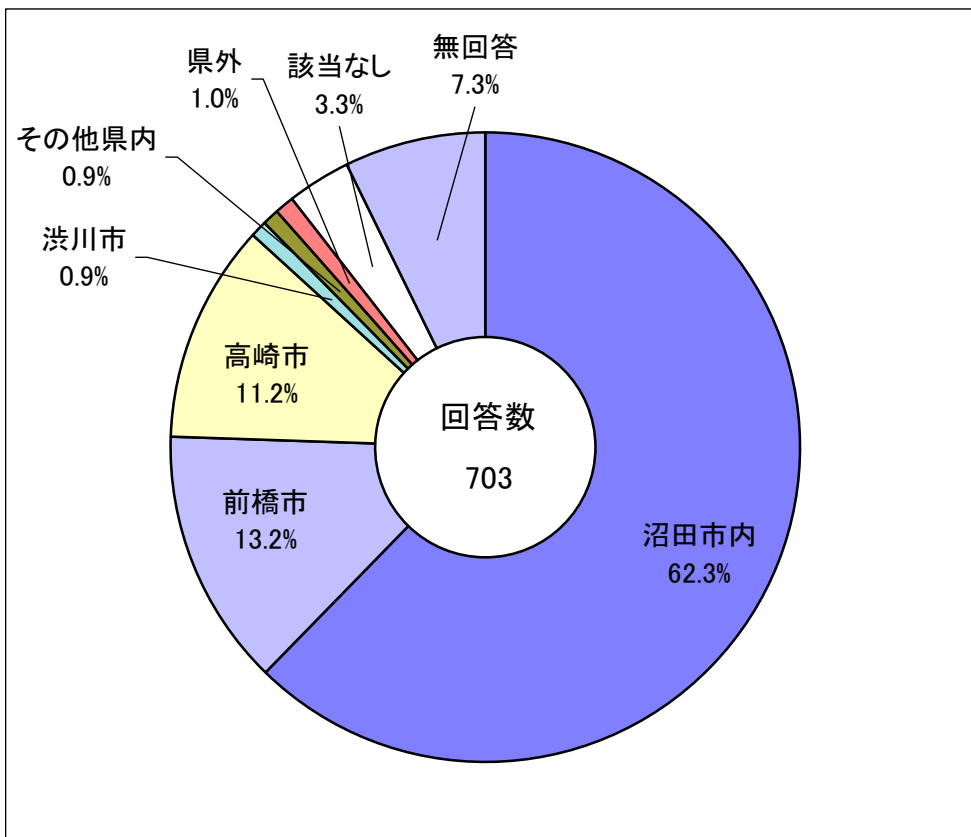
●沼田市内での購入が約3分の2。前橋市、高崎市にも立ち寄る

回答者の家具や家電、贈答品などのいわゆる「買回り品」の購入は、「沼田市内」が62.3%と約3分の2を占めています。次いで、「前橋市」の13.2%、「高崎市」の11.2%となっています。

表 2- 15 家具や家電、贈答品の購入先

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田市内	438	62.3%
2	前橋市	93	13.2%
3	高崎市	79	11.2%
4	渋川市	6	0.9%
5	その他県内	6	0.9%
6	県外	7	1.0%
7	該当なし	23	3.3%
—	無回答	51	7.3%
—	計	703	100.0%

図 2- 15 家具や家電、贈答品の購入先



## ②家具や家電、贈答品の購入の主な交通手段

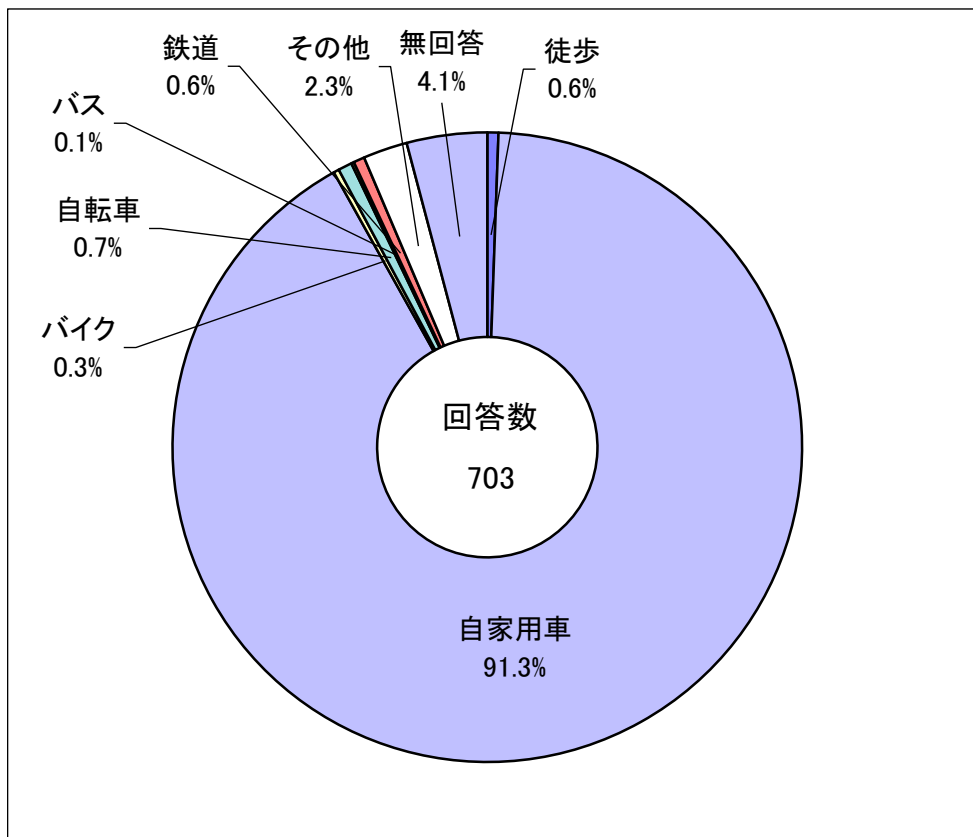
### ●自家用車の利用が9割を超える

回答者の家具や家電、贈答品の購入の主な交通手段は、「自家用車」が91.3%と9割を超えています。次いで、「その他」の2.3%、「自転車」の0.7%となっています。

表 2- 16 家具や家電、贈答品の購入の主な交通手段

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	徒歩	4	0.6%
2	自家用車	642	91.3%
3	バイク	2	0.3%
4	自転車	5	0.7%
5	バス	1	0.1%
6	鉄道	4	0.6%
7	その他	16	2.3%
—	無回答	29	4.1%
—	計	703	100.0%

図 2- 16 家具や家電、贈答品の購入の主な交通手段





(4) 休日の遊びや外出の行き先 (問 14)

① 休日の遊びや外出の行き先

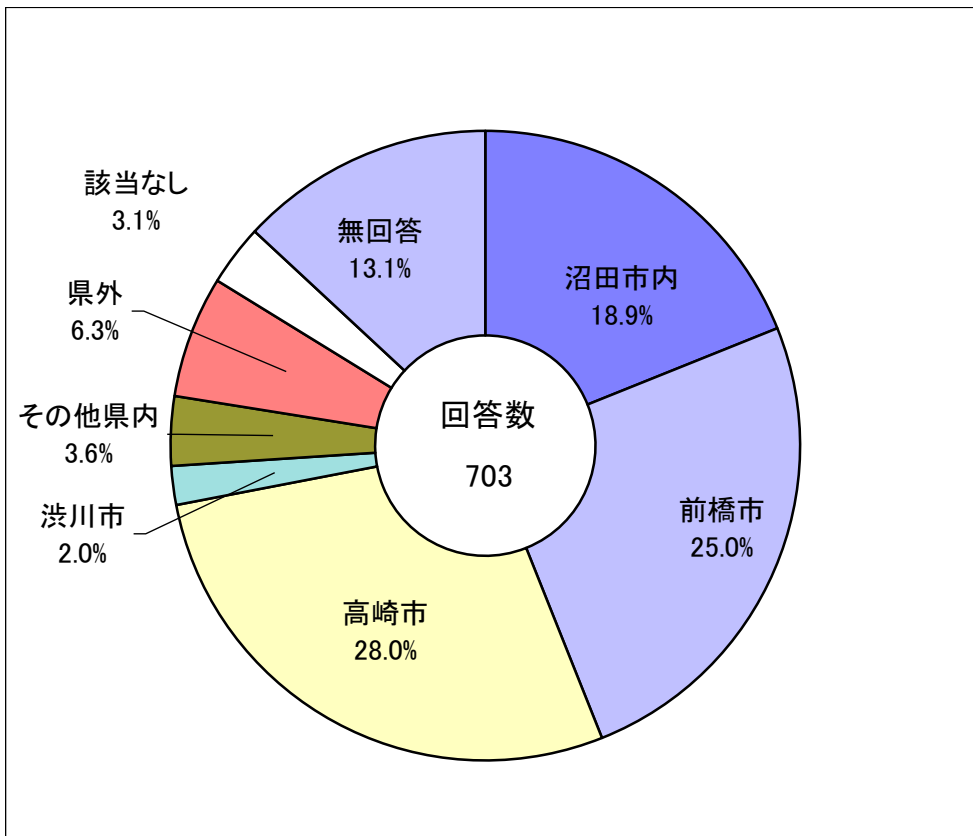
- 高崎市が最も多い。次いで前橋市、沼田市内の順に多い

回答者の休日の遊びや外出の行き先は、「高崎市」が 28.0%と約 3 割を占めています。次いで、「前橋市」の 25.0%、「沼田市内」の 18.9%となっています。

表 2- 17 休日の遊びや外出の行き先

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田市内	133	18.9%
2	前橋市	176	25.0%
3	高崎市	197	28.0%
4	渋川市	14	2.0%
5	その他県内	25	3.6%
6	県外	44	6.3%
7	該当なし	22	3.1%
—	無回答	92	13.1%
—	計	703	100.0%

図 2- 17 休日の遊びや外出の行き先



②休日の遊びや外出の主な交通手段

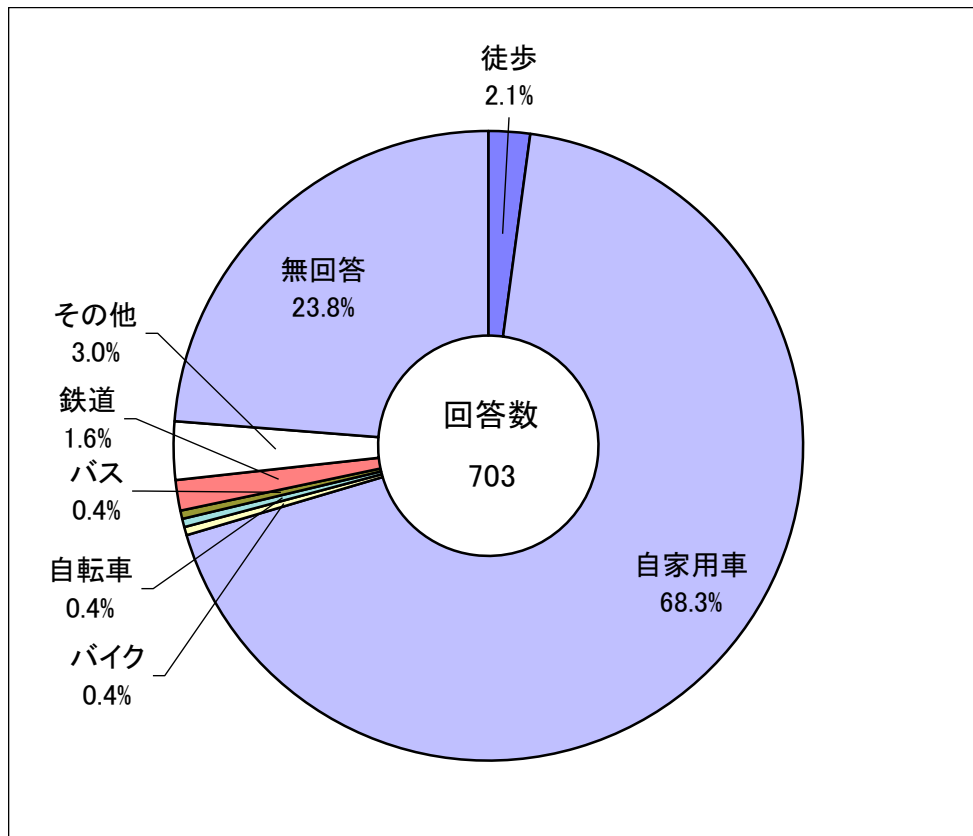
●約3分の2が自家用車を利用

回答者の休日の遊びや外出の主な交通手段は、「自家用車」が68.3%と約3分の2を占めています。次いで、「その他」の3.0%、「徒歩」の2.1%となっています。

表 2- 18 休日の遊びや外出の主な交通手段

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	徒歩	15	2.1%
2	自家用車	480	68.3%
3	バイク	3	0.4%
4	自転車	3	0.4%
5	バス	3	0.4%
6	鉄道	11	1.6%
7	その他	21	3.0%
—	無回答	167	23.8%
—	計	703	100.0%

図 2- 18 休日の遊びや外出の主な交通手段



(5) 病院や医院・診療所にかかる際の行き先 (問 15)

① 病院や医院・診療所にかかる際の行き先

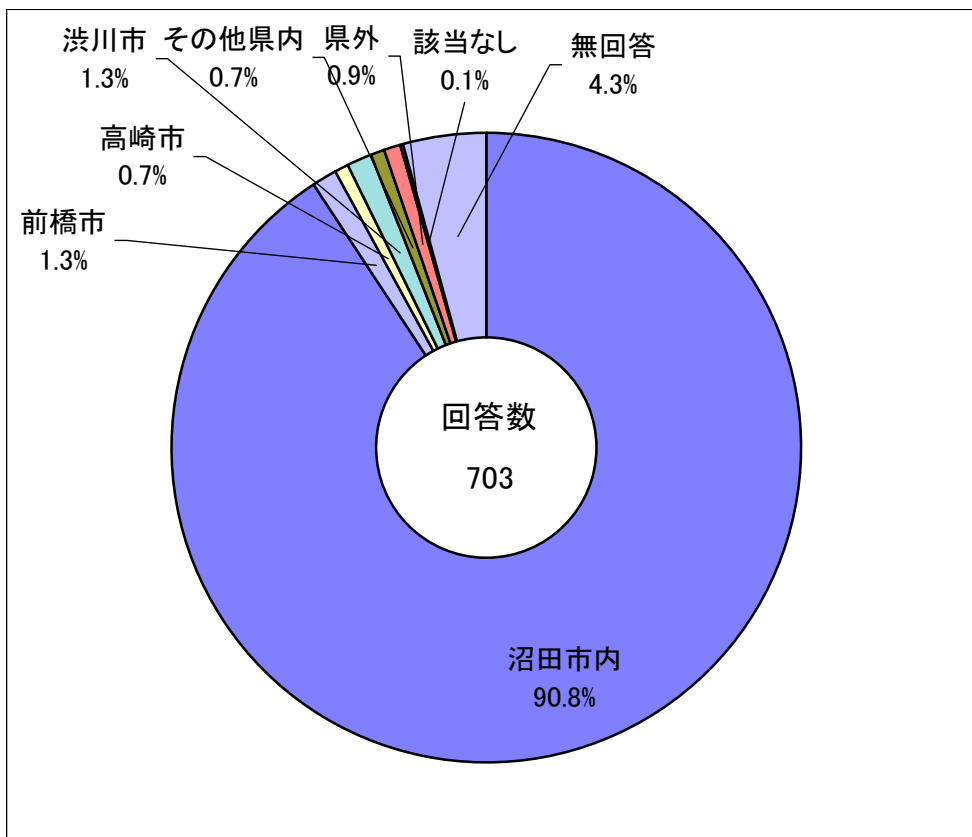
● 約9割が沼田市内

回答者の病院や医院・診療所にかかる際の行き先は、「沼田市内」が90.8%と9割を超えています。次いで、「前橋市」「渋川市」の1.3%、「県外」の0.9%となっています。

表 2- 19 病院や医院・診療所にかかる際の行き先

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田市内	638	90.8%
2	前橋市	9	1.3%
3	高崎市	5	0.7%
4	渋川市	9	1.3%
5	その他県内	5	0.7%
6	県外	6	0.9%
7	該当なし	1	0.1%
—	無回答	30	4.3%
—	計	703	100.0%

図 2- 19 病院や医院・診療所にかかる際の行き先



②病院や医院・診療所にかかる際の主な交通手段

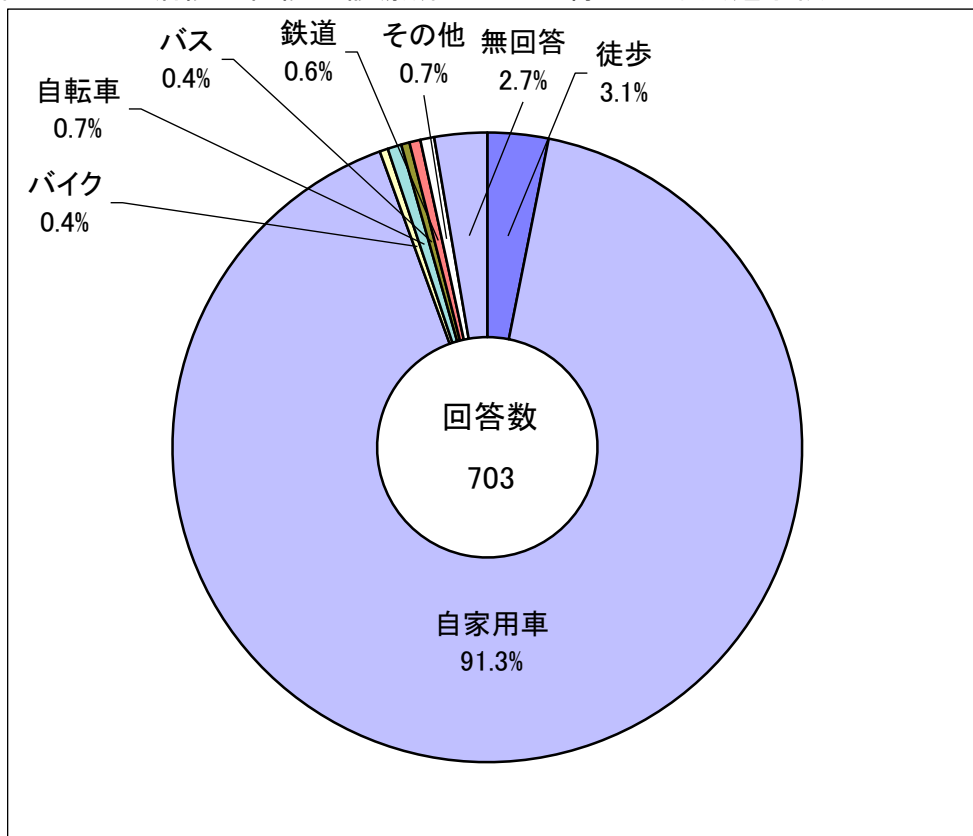
●自家用車の利用が9割を超える

回答者の病院や医院・診療所にかかる際の主な交通手段は、「自家用車」が91.3%と9割を超えています。次いで、「徒歩」の3.1%、「自転車」「その他」の0.7%となっています。

表 2- 20 病院や医院・診療所にかかる際の主な交通手段

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	徒歩	22	3.1%
2	自家用車	642	91.3%
3	バイク	3	0.4%
4	自転車	5	0.7%
5	バス	3	0.4%
6	鉄道	4	0.6%
7	その他	5	0.7%
—	無回答	19	2.7%
—	計	703	100.0%

図 2- 20 病院や医院・診療所にかかる際の主な交通手段



(6) 生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事の行き先 (問 16)

①生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事の行き先

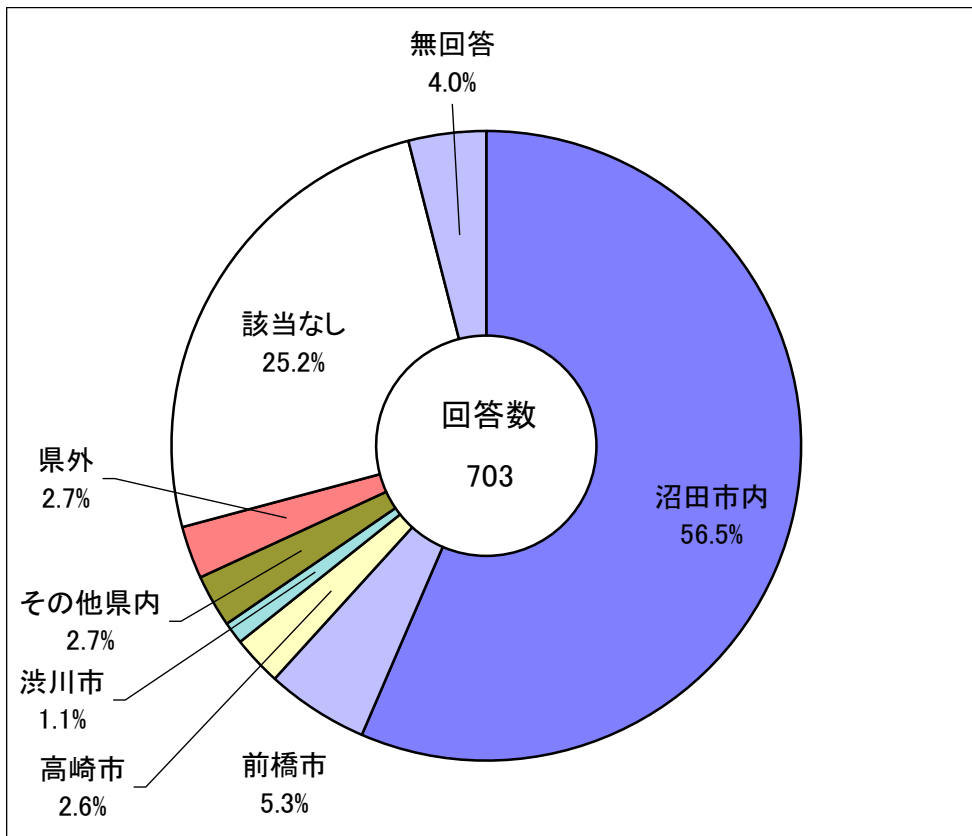
●沼田市内が半数を超える

「沼田市内」が 56.5%と過半を占めています。次いで、「前橋市」の 5.3%、「その他県内」「県外」の 2.7%となっています。

表 2- 21 生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事の行き先

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田市内	397	56.5%
2	前橋市	37	5.3%
3	高崎市	18	2.6%
4	渋川市	8	1.1%
5	その他県内	19	2.7%
6	県外	19	2.7%
7	該当なし	177	25.2%
—	無回答	28	4.0%
—	計	703	100.0%

図 2- 21 生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事の行き先



②生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事の際の主な交通手段

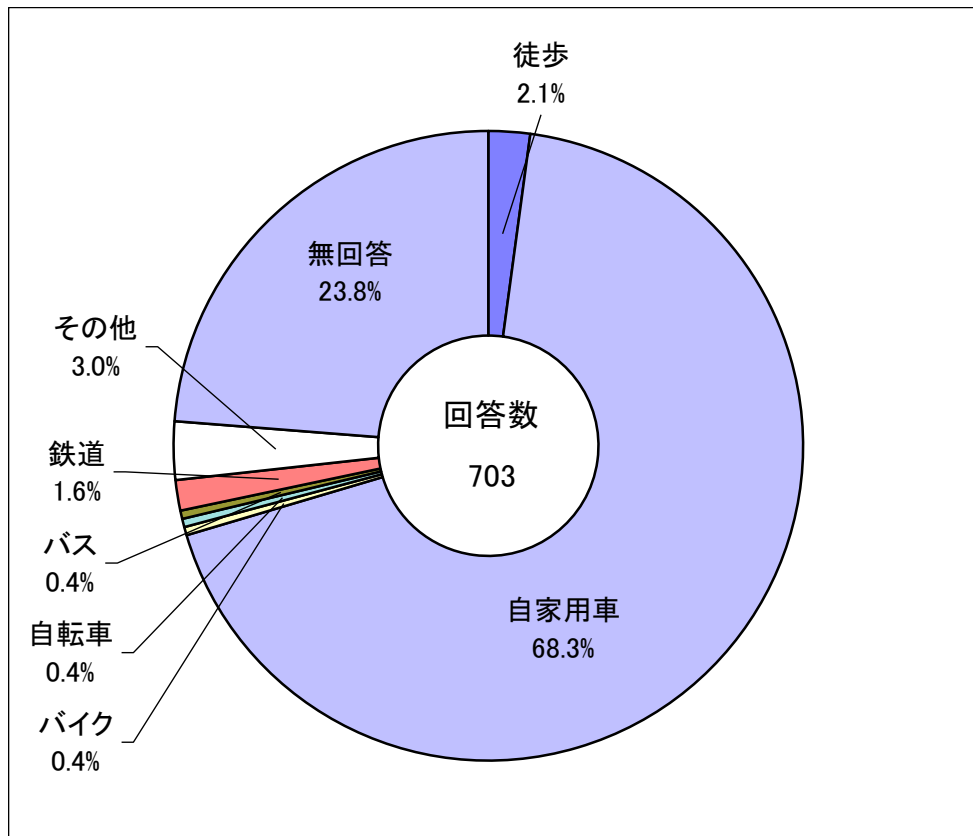
●自家用車の利用が約3分の2を占める

「自家用車」が68.3%と約3分の2を占める。次いで、「その他」の3.0%、「鉄道」の1.6%となっています。

表 2- 22 病院や医院・診療所にかかる際の主な交通手段

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	徒歩	15	2.1%
2	自家用車	480	68.3%
3	バイク	3	0.4%
4	自転車	3	0.4%
5	バス	3	0.4%
6	鉄道	11	1.6%
7	その他	21	3.0%
—	無回答	167	23.8%
—	計	703	100.0%

図 2- 22 病院や医院・診療所にかかる際の主な交通手段



### 3. 居住地区の満足度と今後のまちづくりにおける重要度

#### (1) 満足度の評価 (問 17①)

● 調査項目全体に対して不満度が高い。

項目ごとで、満足度が比較的高いのは「自然環境の豊かさ」。満足度が低いのは「バスや鉄道の利用しやすさ」、「就業環境としての魅力・活力」

項目毎の満足度について、満足度指数の平均がマイナスの値を示しています。

項目別には、「自然環境の豊かさ・美しさ」は満足度が比較的高く、「バスや鉄道の利用しやすさ」や「就業環境としての魅力・活力」は満足度が比較的低くなっています。

表 2- 23 居住地区の項目毎の満足度

■ 満足度指摘数(居住地区が無回答を除く)

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	合計
道路の歩きやすさ(歩道)	32	130	170	216	138	11	697
道路の走りやすさ(自動車、バイク、自転車)	28	145	177	220	113	14	697
通勤・通学の便利さ	58	114	213	165	109	38	697
バスや鉄道の利用しやすさ	13	53	154	201	251	24	696
通院のしやすさ	40	134	233	163	111	16	697
買い物の便利さ	61	174	176	156	112	18	697
公共施設(役所や文化会館など)の利用しやすさ	28	83	301	174	98	13	697
福祉施設の利用しやすさ	21	54	406	129	68	18	696
公民館や地域集会施設の利用しやすさ	29	94	385	121	51	16	696
公園や広場の利用しやすさ	31	116	314	126	90	19	696
上水道や給水施設整備の充実	95	186	280	69	51	16	697
下水道や合併処理浄化槽の整備の充実	76	160	289	66	88	18	697
街並みや家並みの美しさ	16	61	336	165	108	11	697
子育て環境としての便利さ	20	102	259	195	100	21	697
就業環境としての魅力・活力	11	46	173	199	251	17	697
居住環境としての生活のしやすさ	45	174	199	179	88	12	697
自然環境の豊かさ・美しさ	166	260	188	46	17	20	697
騒音・悪臭・粉塵など公害対策の充実	81	162	318	75	47	14	697
まちの防犯性	53	181	322	88	38	15	697
地震や自然災害に対する安全性	52	132	318	128	51	16	697
地域コミュニティの充実(地域活動、祭りなど)	42	127	393	85	34	16	697
合計	998	2,688	5,604	2,966	2,014	363	14,633

図 2- 23 居住地区の項目毎の満足度

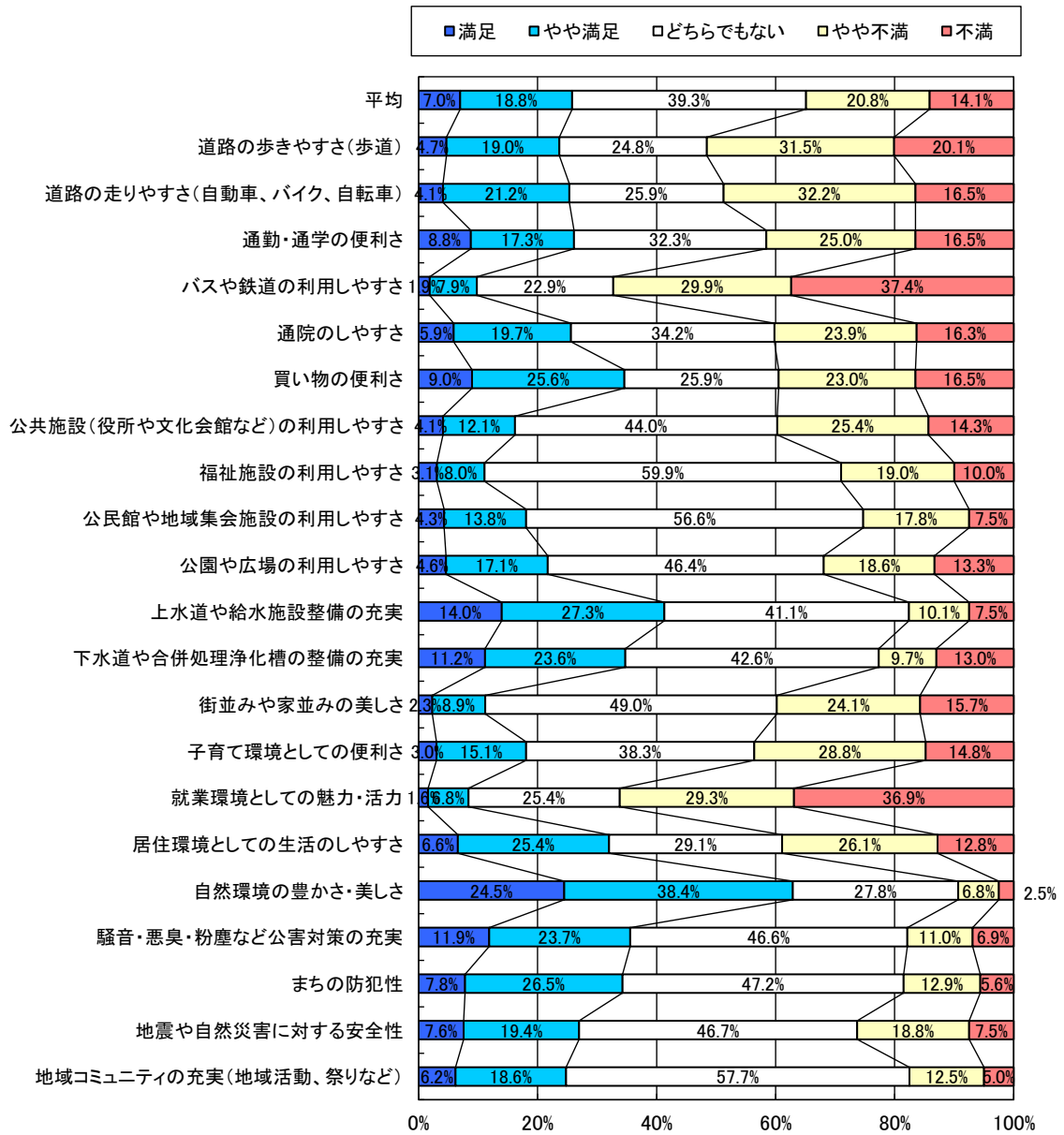
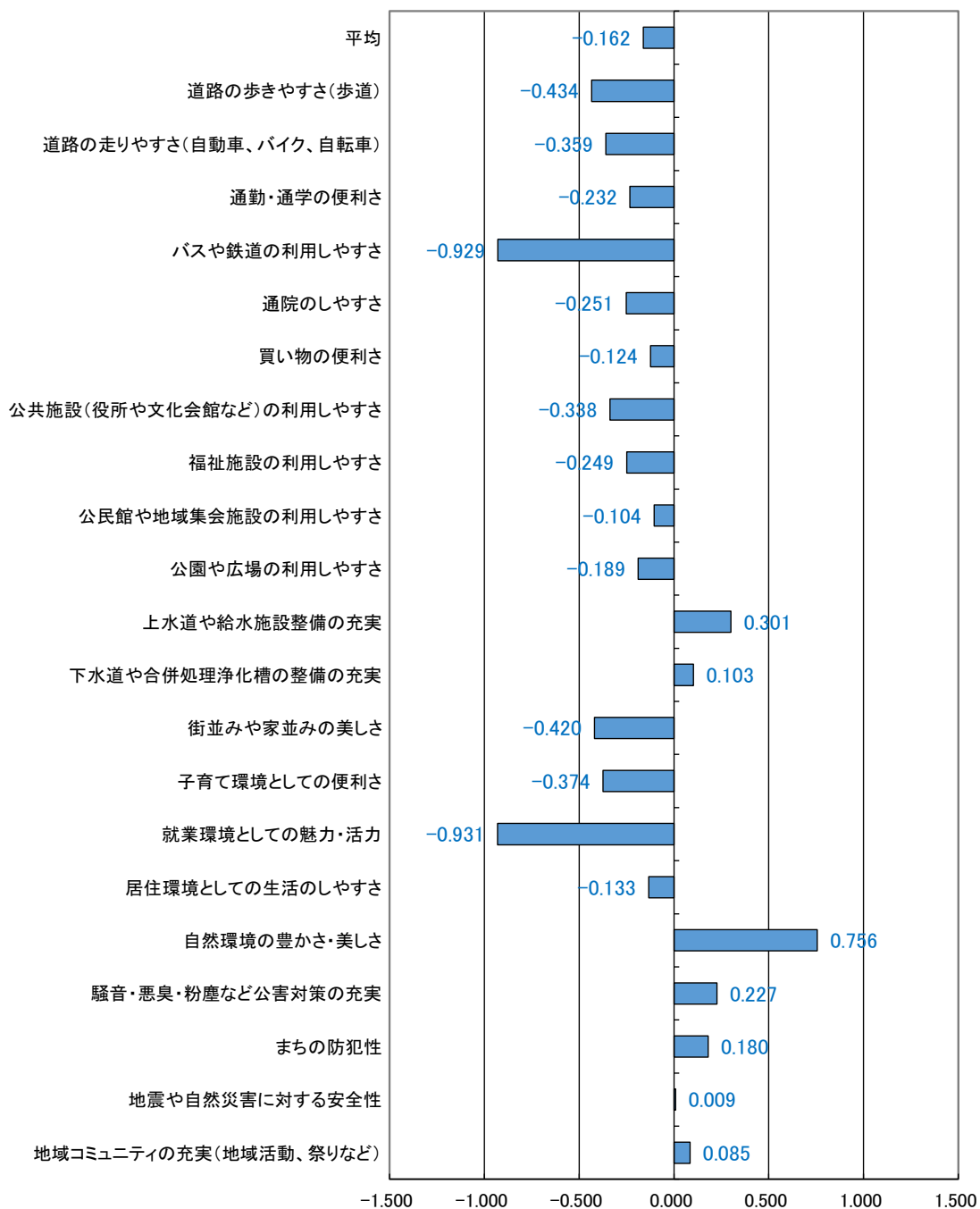




図 2- 24 居住地区の項目毎の満足度指数

### H30沼田市全域満足度指数



$$\text{満足度指数} = \frac{\text{満足回答数} \times 2 + \text{やや満足回答数} \times 1 + \text{どちらでもない回答数} \times 0 + \text{やや不満回答数} \times (-1) + \text{不満回答数} \times (-2)}{\text{総指摘数}}$$

(2) まちづくりの重要度 (問 17②)

● 調査項目に対して全体的に重要度が高い傾向。

項目別では、「就業環境としての魅力・活力」「まちの防犯性」「地震や自然災害に対する安全性」の重要度が高い

項目毎の重要度について、全項目で重要度指数がプラスの値を示しています。

項目別には、「地震や自然災害に対する安全性」「就業環境としての魅力・活力」「まちの防犯性」などは重要度が比較的高く、「街並みや家並みの美しさ」「公民館や地域集会施設の利用のしやすさ」「地域コミュニティの充実(地域活動、祭りなど)」などは重要度があまり高くない状況です。

表 2- 24 居住地区の項目毎の重要度

■重要度回答数(居住地区が無回答を除く)

	とても重要	やや需要	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
道路の歩きやすさ(歩道)	300	285	66	9	37	697
道路の走りやすさ(自動車、バイク、自転車)	329	275	47	9	37	697
通勤・通学の便利さ	247	279	93	18	60	697
バスや鉄道の利用しやすさ	272	250	106	26	43	697
通院のしやすさ	315	264	67	14	37	697
買い物の便利さ	300	272	73	15	37	697
公共施設(役所や文化会館など)の利用しやすさ	186	310	148	22	31	697
福祉施設の利用しやすさ	202	296	144	20	35	697
公民館や地域集会施設の利用しやすさ	126	292	219	27	33	697
公園や広場の利用しやすさ	168	283	190	18	38	697
上水道や給水施設整備の充実	266	277	107	12	35	697
下水道や合併処理浄化槽の整備の充実	264	278	105	13	37	697
街並みや家並みの美しさ	155	242	226	40	34	697
子育て環境としての便利さ	340	229	75	11	42	697
就業環境としての魅力・活力	399	186	64	13	35	697
居住環境としての生活のしやすさ	335	261	61	8	32	697
自然環境の豊かさ・美しさ	240	276	118	24	39	697
騒音・悪臭・粉塵など公害対策の充実	251	269	128	12	37	697
まちの防犯性	354	242	57	10	34	697
地震や自然災害に対する安全性	410	200	45	12	30	697
地域コミュニティの充実(地域活動、祭りなど)	165	280	187	33	32	697
合計	5,624	5,546	2,326	366	775	14,637

図 2- 25 居住地区の項目毎の重要度

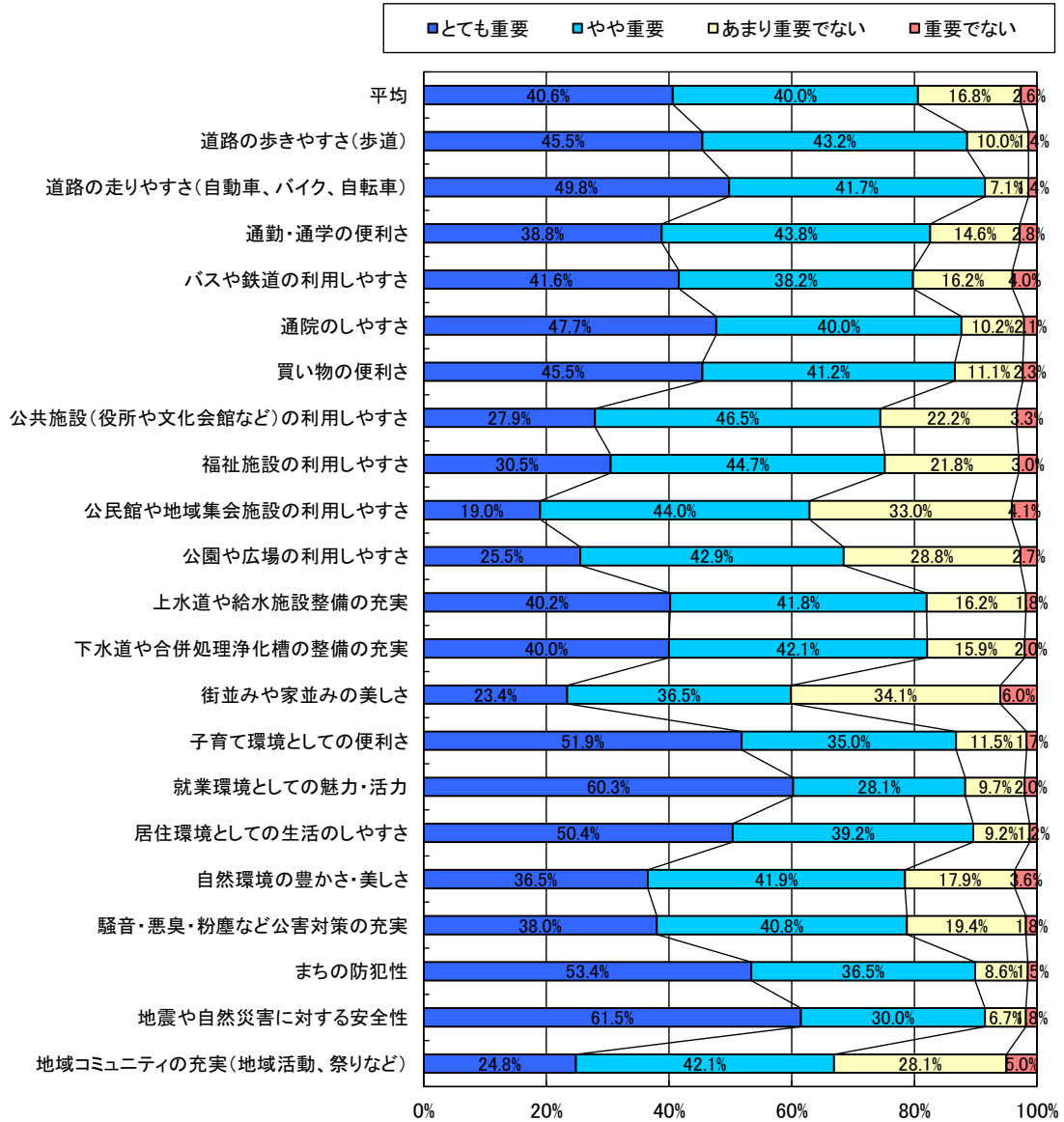
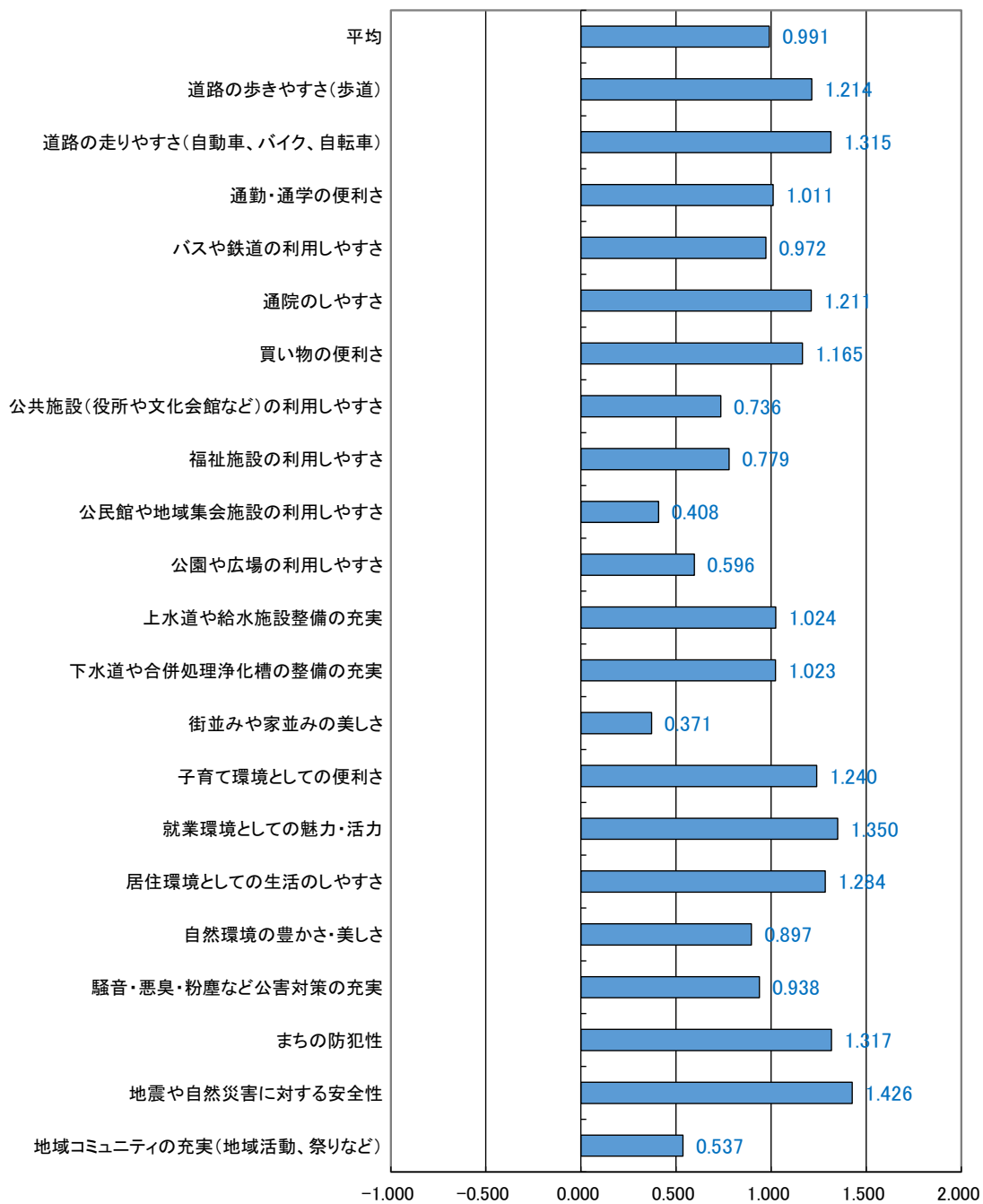


図 2- 26 居住地区の項目毎の重要度指数

H30沼田市全域重要度指数



$$\text{重要度指数} = \frac{\text{とても重要回答数} \times 2 + \text{やや重要回答数} \times 1 + \text{あまり重要でない回答数} \times (-1) + \text{重要でない回答数} \times (-2)}{\text{総指摘数}}$$

(3) 自慢できる、又は、誇れる「もの」や「ことがら」（自由回答、キーワード集計）  
 (問 18)

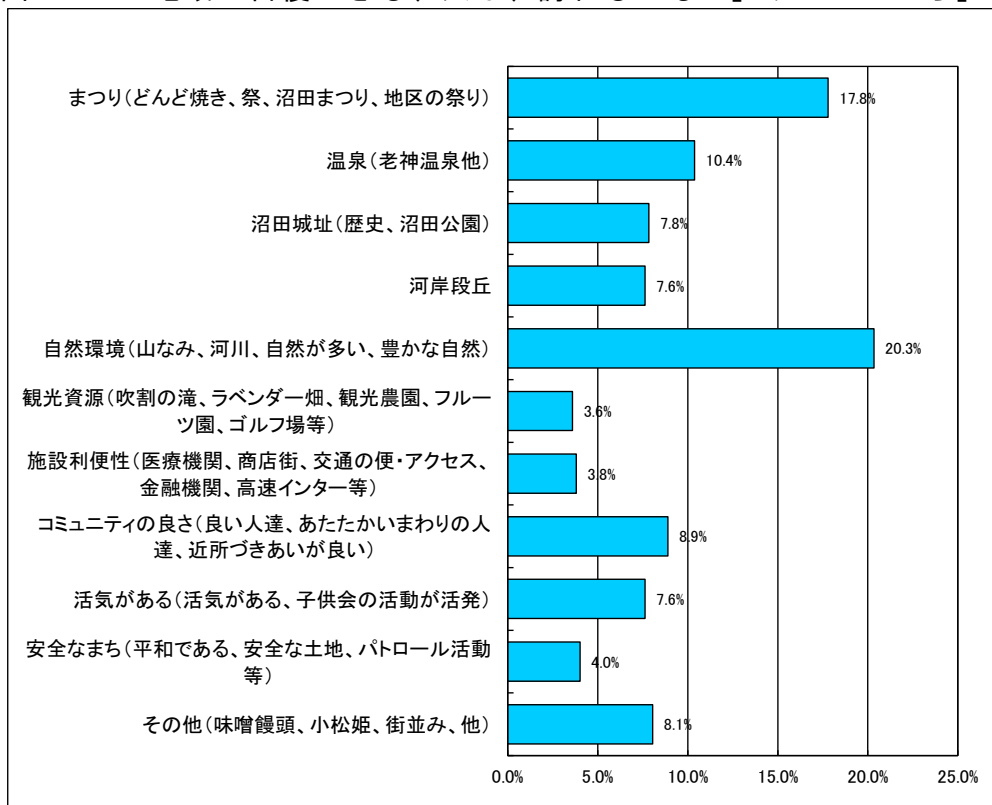
●「自然環境」、「まつり」が多く選ばれている。「温泉」、「コミュニティの良さ」も選ばれている

回答者が沼田市で自慢できる、又は誇れる「もの」や「ことがら」について回答した結果は、「自然環境」が20.3%と最も多く、次いで「まつり」の17.8%、「温泉」の10.4%となっています。

表 2- 25 地域の自慢できる、又は、誇れる「もの」や「ことがら」

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	まつり(どんど焼き、祭、沼田まつり、地区の祭り)	84	17.8%
2	温泉(老神温泉他)	49	10.4%
3	沼田城址(歴史、沼田公園)	37	7.8%
4	河岸段丘	36	7.6%
5	自然環境(山なみ、河川、自然が多い、豊かな自然)	96	20.3%
6	観光資源(吹割の滝、ラベンダー畑、観光農園、フルーツ園、ゴルフ場等)	17	3.6%
7	施設利便性(医療機関、商店街、交通の便・アクセス、金融機関、高速インター等)	18	3.8%
8	コミュニティの良さ(良い人達、あたたかいまわりの人達、近所づきあいが良い)	42	8.9%
9	活気がある(活気がある、子供会の活動が活発)	36	7.6%
10	安全なまち(平和である、安全な土地、パトロール活動等)	19	4.0%
—	その他(味噌饅頭、小松姫、街並み、他)	38	8.1%
—	計	472	100.0%

図 2- 27 地域の自慢できる、又は、誇れる「もの」や「ことがら」



#### 4. これからの沼田市のまちづくり

##### (1) 市街地や集落の拡大（問 19）

- 「拡大を抑える」と「もっと集約する」を合わせた回答が、「多少の拡大は良い」と「積極的に拡大を図る」を合わせた回答を上回る

市街地や集落の拡大については、「拡大を抑える」が 27.5%、「もっと集約する」が 12.9%で、合わせて 40.4%を占めています。

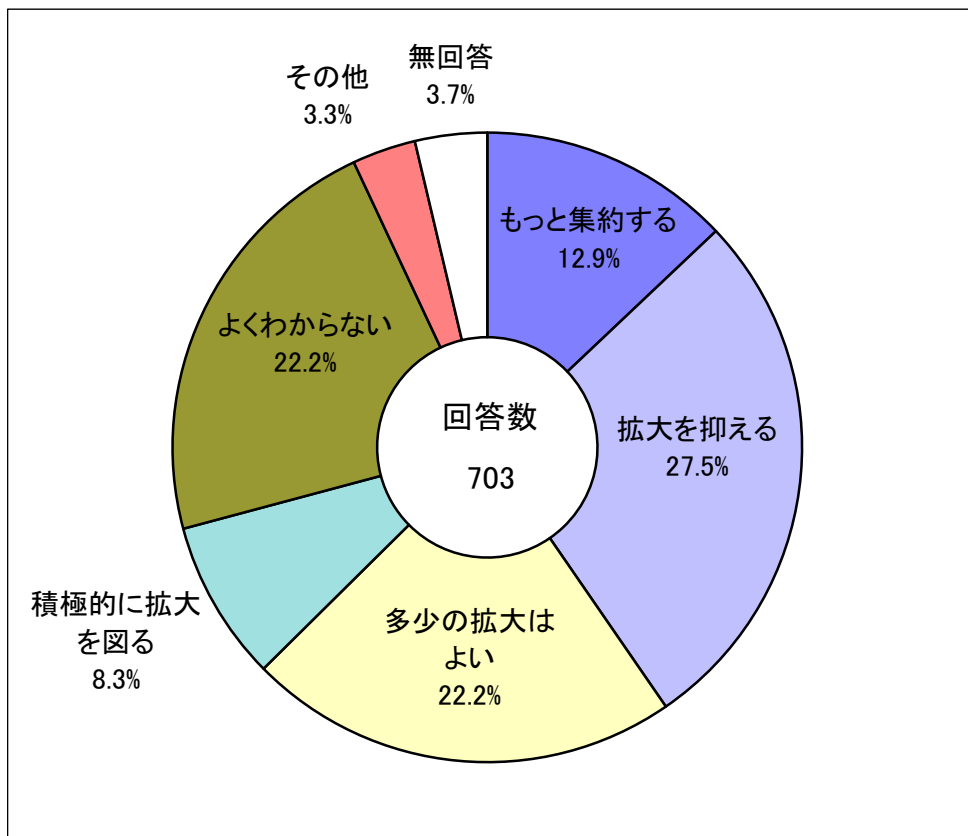
一方、「多少の拡大は良い」が 22.2%、「積極的に拡大を図る」が 8.3%で、合わせて 30.5%を占めています。

どちらかと言えば、市街地や集落の拡大を抑える方向を求める意見が多くなっている状況です。

表 2- 26 市街地や集落の拡大

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	もっと集約する	91	12.9%
2	拡大を抑える	193	27.5%
3	多少の拡大はよい	156	22.2%
4	積極的に拡大を図る	58	8.3%
5	よくわからない	156	22.2%
6	その他	23	3.3%
—	無回答	26	3.7%
—	計	703	100.0%

図 2- 28 市街地や集落の拡大



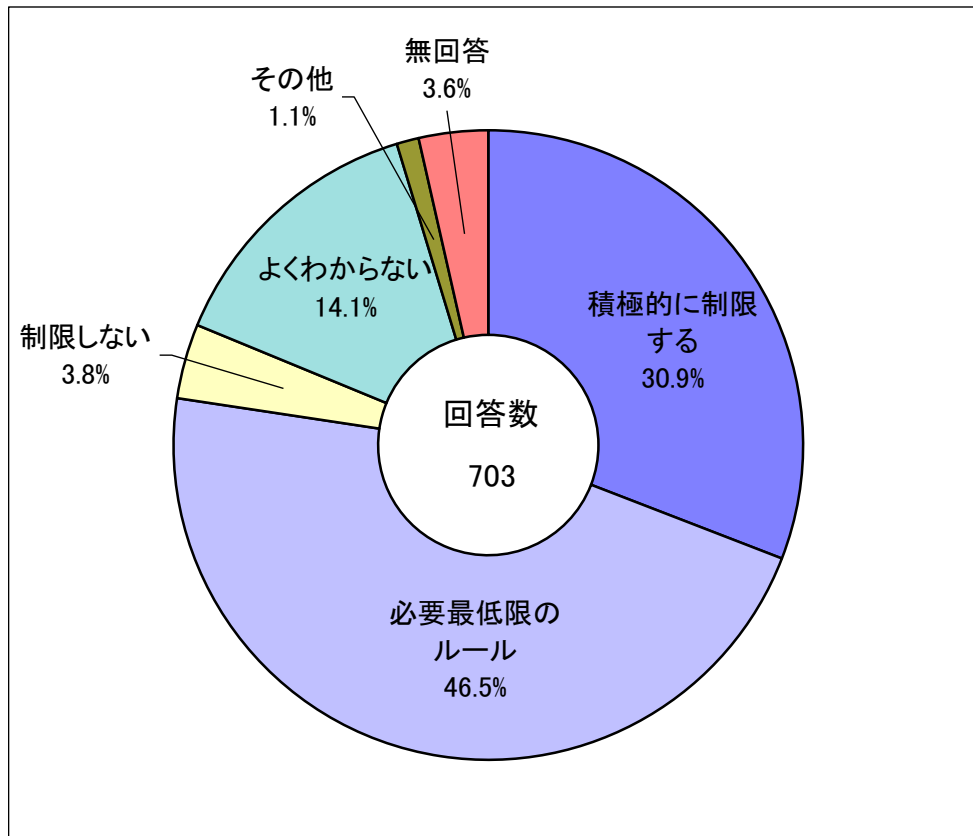
(2) まちづくりのルール (問 20)

- 「積極的な制限」「必要最低限のルール」を設けることなど、何かしらの制限が必要農地や緑地化の宅地化の制限、建築物のルール設定については、「必要最低限のルールがあればよい」とする回答が 46.5%と最も多くを占めています。次いで、「積極的に制限する」が 30.9%となっています。

表 2- 27 まちづくりのルール

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	積極的に制限する	217	30.9%
2	必要最低限のルール	327	46.5%
3	制限しない	27	3.8%
4	よくわからない	99	14.1%
5	その他	8	1.1%
6	無回答	25	3.6%
—	計	703	100.0%

図 2- 29 まちづくりのルール



(3) 住宅地の整備・確保（複数回答）（問 21）

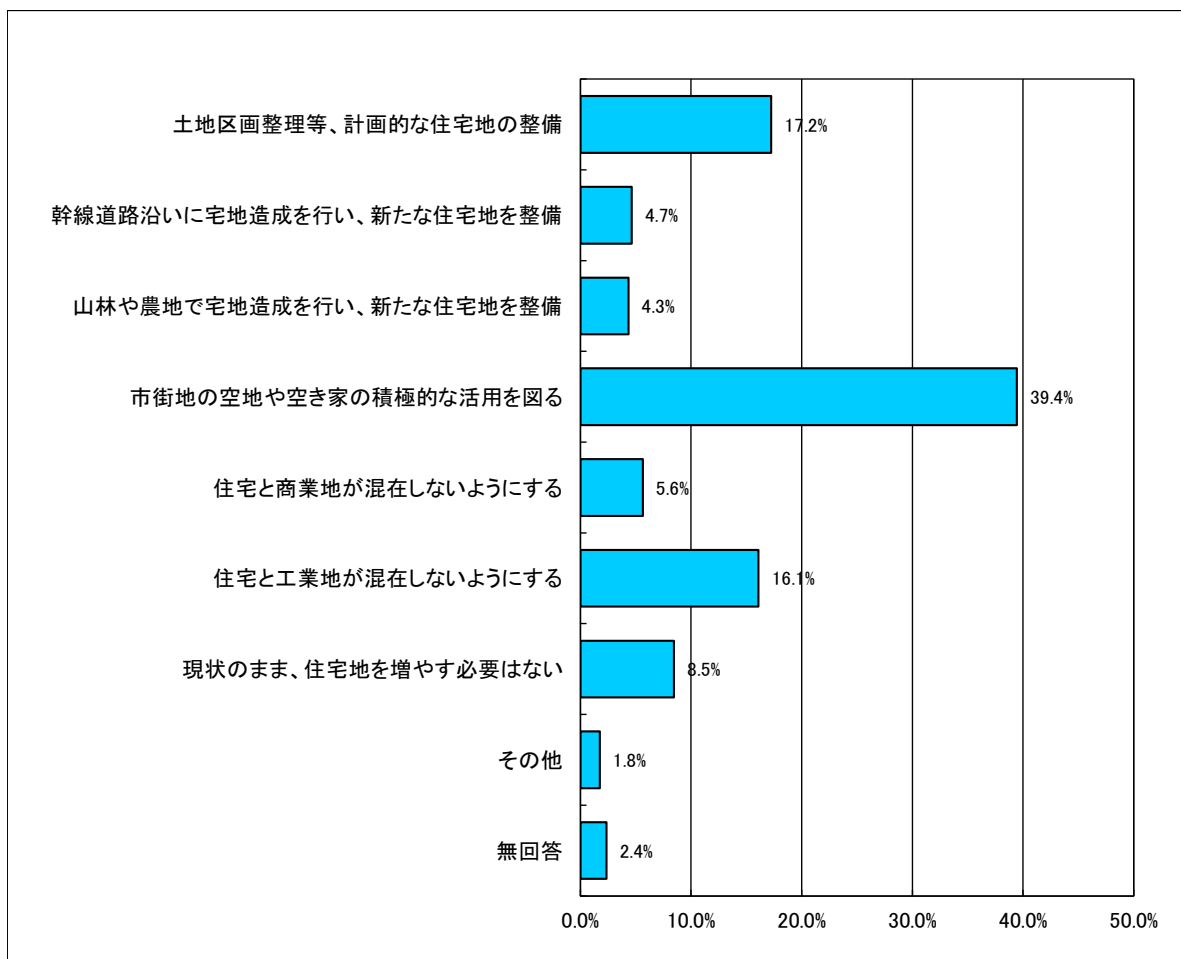
●市街地の空地や空き家の積極的な活用を図ることを重要とする回答が最も多い

住宅地の整備・確保については、「市街地の空地や空き家の積極的な活用を図る」を重要とする回答が 39.4%と約 4 割を占め最も多くなっています。次いで「土地区画整理等、計画的な住宅地の整備」の 17.2%、「住宅と工業地が混在しないようにする」の 16.1%と続いています。

表 2- 28 住宅地の整備・確保

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	土地区画整理等、計画的な住宅地の整備	226	17.2%
2	幹線道路沿いに宅地造成を行い、新たな住宅地を整備	61	4.7%
3	山林や農地で宅地造成を行い、新たな住宅地を整備	57	4.3%
4	市街地の空地や空き家の積極的な活用を図る	517	39.4%
5	住宅と商業地が混在しないようにする	74	5.6%
6	住宅と工業地が混在しないようにする	211	16.1%
7	現状のまま、住宅地を増やす必要はない	111	8.5%
8	その他	23	1.8%
—	無回答	31	2.4%
—	計	1311	100.0%

図 2- 30 住宅地の整備・確保





(4) 農村地域や農地・山林（複数回答）（問 22）

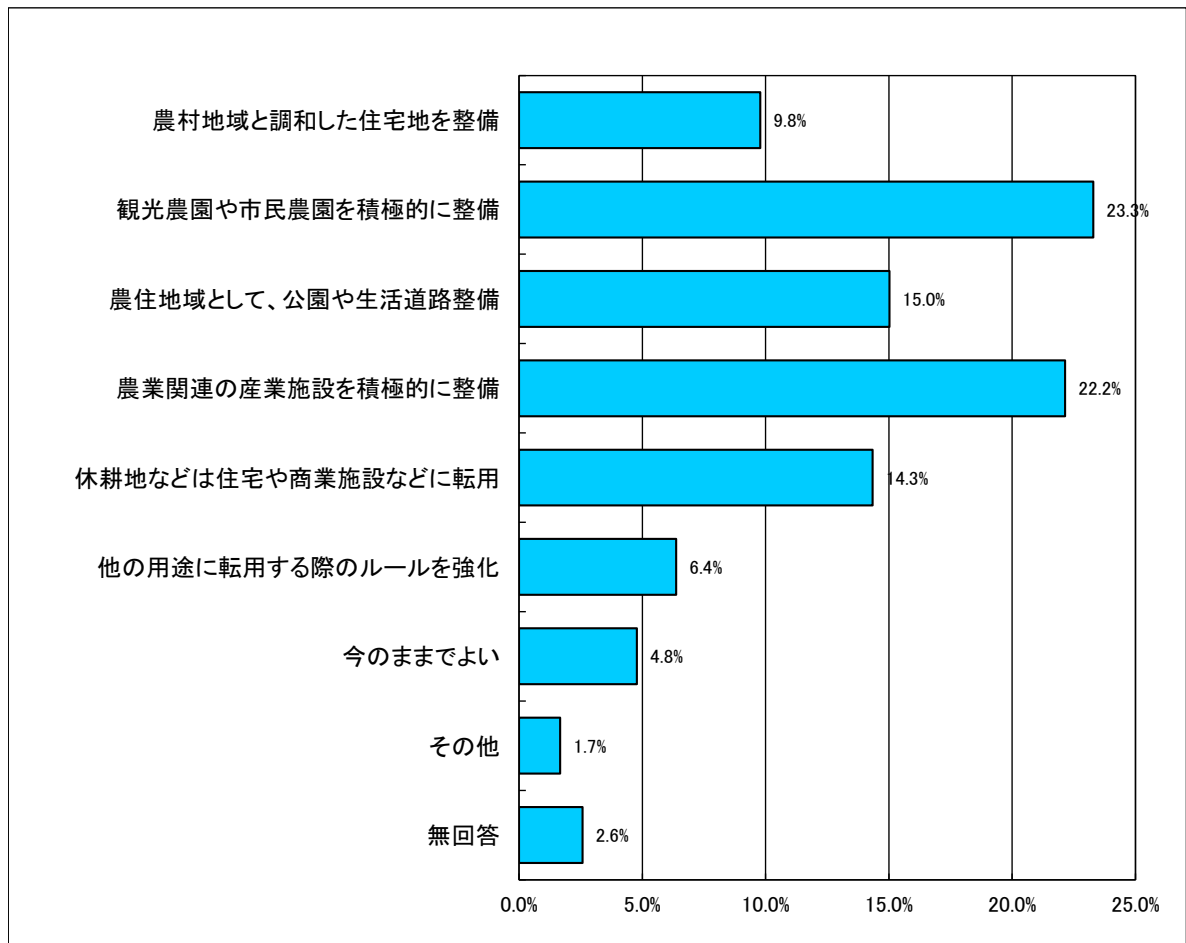
●観光農園・市民農園の積極的な整備、農業関連の産業施設の積極的な整備を重要とする回答が多い

農村地域や農地・山林については、「観光農園や市民農園を積極的に整備」を重要とする回答が 23.3%と最も多くを占めています。次いで、「農業関連の産業施設を積極的に整備」が 22.2%、「農住地域として公園や生活道路整備」が 15.0%と続いています。

表 2- 29 農村地域や農地・山林

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	農村地域と調和した住宅地を整備	129	9.8%
2	観光農園や市民農園を積極的に整備	307	23.3%
3	農住地域として、公園や生活道路整備	198	15.0%
4	農業関連の産業施設を積極的に整備	292	22.2%
5	休耕地などは住宅や商業施設などに転用	189	14.3%
6	他の用途に転用する際のルールを強化	84	6.4%
7	今のままでよい	63	4.8%
8	その他	22	1.7%
—	無回答	34	2.6%
—	計	1318	100.0%

図 2- 31 農村地域や農地・山林



(5) 工場や工業用地のあり方（複数回答）（問 23）

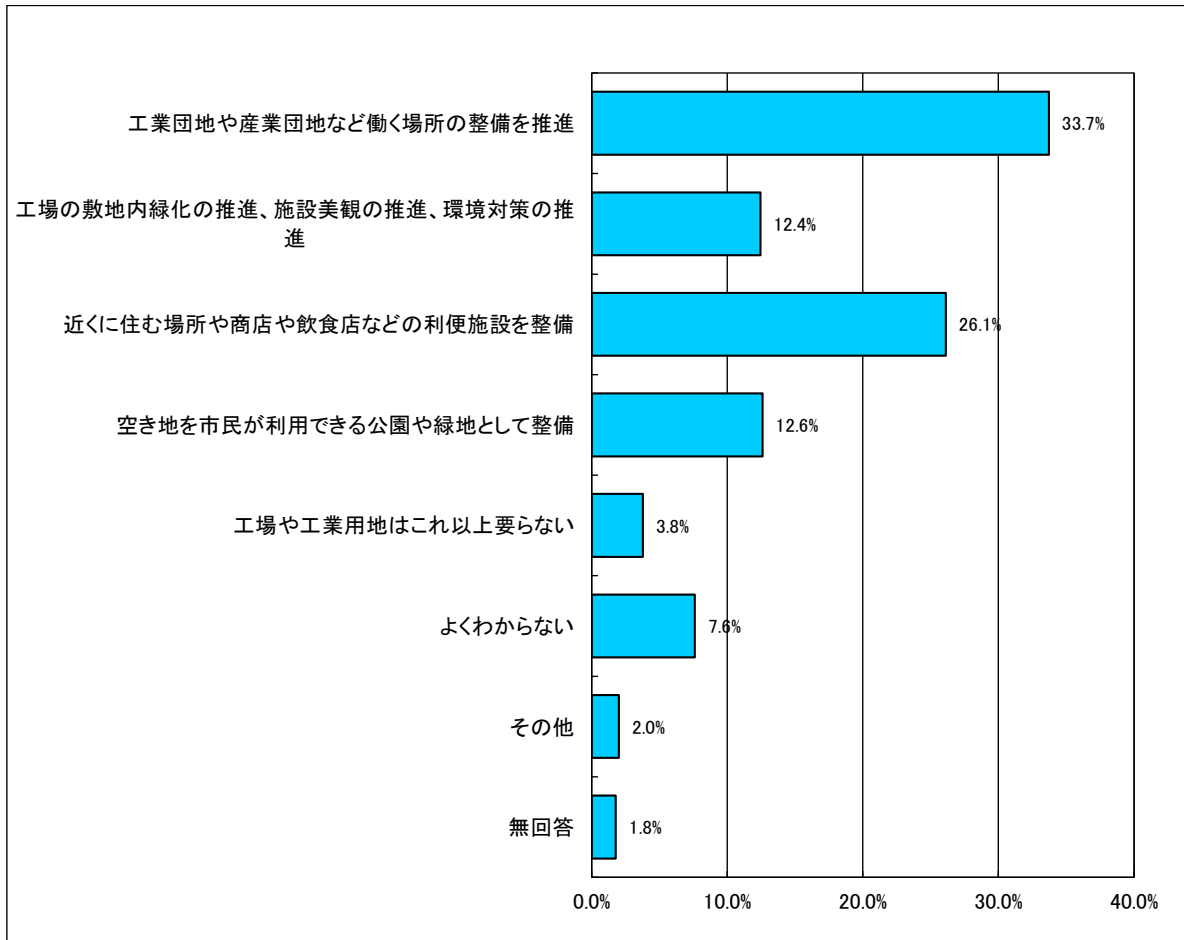
●働く場所の整備推進、働く場所と住む場所の利便性向上を重視

工場や工業用地のあり方については、「工業団地や産業団地など働く場所の整備を推進」を重要とする回答が 33.7%と 3 割を超えて最も多くなっています。次いで、「近くに住む場所や商店や飲食店などの利便施設を整備」が 26.1%、「空き地を市民が利用できる公園や緑地として整備」が 12.6%と続いています。

表 2- 30 工場や工業用地のあり方

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	工業団地や産業団地など働く場所の整備を推進	439	33.7%
2	工場の敷地内緑化の推進、施設美観の推進、環境対策の推進	162	12.4%
3	近くに住む場所や商店や飲食店などの利便施設を整備	340	26.1%
4	空き地を市民が利用できる公園や緑地として整備	164	12.6%
5	工場や工業用地はこれ以上要らない	49	3.8%
6	よくわからない	99	7.6%
7	その他	26	2.0%
—	無回答	23	1.8%
—	計	1302	100.0%

図 2- 32 工場や工業用地のあり方



(6) 商業地や商業施設のあり方（複数回答）（問 24）

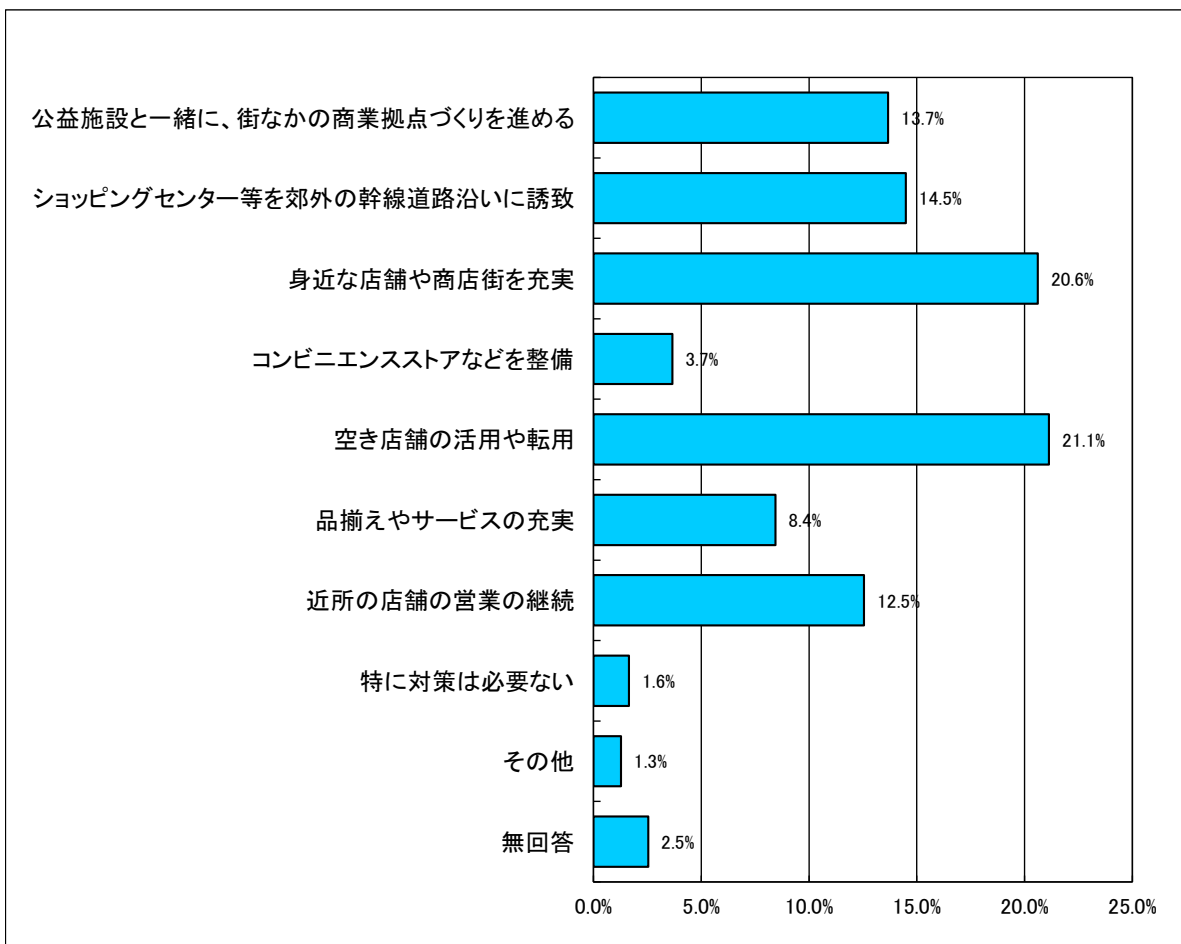
● 空き店舗の活用、身近な店舗や商店街の充実を望んでいる

商業地や商業施設のあり方については、「空き店舗の活用や転用」を重要とする回答が 21.1%と約 2 割を占め最も多くなっています。次いで「身近な店舗や商店街を充実」の 20.6%、「ショッピング等を郊外の幹線道路沿いに誘致」の 14.5%と続いています。

表 2- 31 商業地や商業施設のあり方

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	公益施設と一緒に、街なかの商業拠点づくりを進める	183	13.7%
2	ショッピングセンター等を郊外の幹線道路沿いに誘致	194	14.5%
3	身近な店舗や商店街を充実	276	20.6%
4	コンビニエンスストアなどを整備	49	3.7%
5	空き店舗の活用や転用	283	21.1%
6	品揃えやサービスの充実	113	8.4%
7	近所の店舗の営業の継続	168	12.5%
8	特に対策は必要ない	22	1.6%
9	その他	17	1.3%
—	無回答	34	2.5%
—	計	1339	100.0%

図 2- 33 商業地や商業施設のあり方



(7) 幹線道路沿いに整備される大型スーパーやホームセンター（複数回答）（問 25）

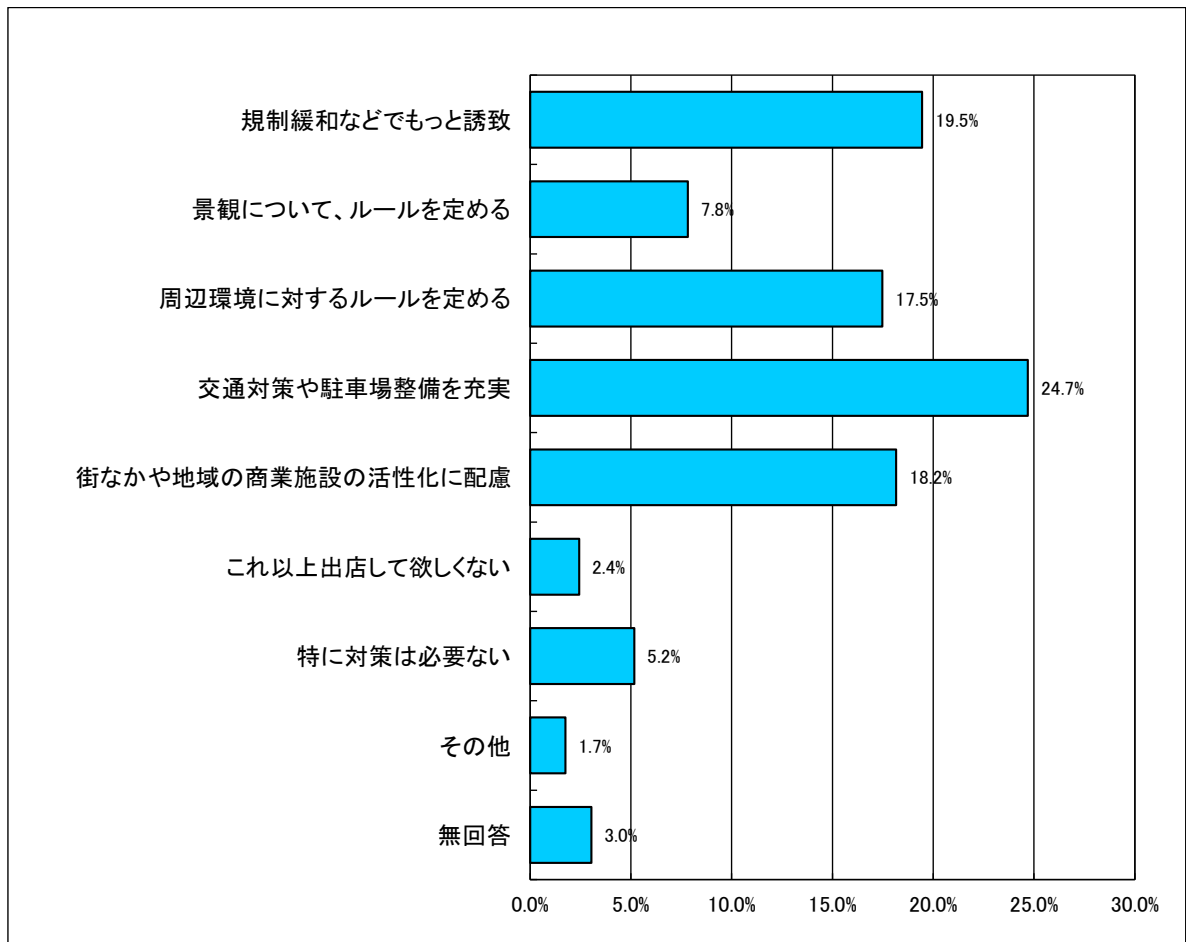
●交通対策や駐車場整備の充実を重視。誘致を望む回答が多いが、街なかや地域の商業施設の活性化への配慮、周辺環境への配慮を重要とすることも多い

幹線道路沿いに整備される大型スーパーやホームセンターについては、「交通対策や駐車場整備を充実」が重要とする回答が 24.7%と最も多くなっています。次いで、「規制緩和などでもっと誘致」の 19.5%、「街なかや地域の商業施設の活性化に配慮」の 18.2%と続いています。

表 2- 32 幹線道路沿いに整備される大型スーパーやホームセンター

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	規制緩和などでもっと誘致	256	19.5%
2	景観について、ルールを定める	103	7.8%
3	周辺環境に対するルールを定める	230	17.5%
4	交通対策や駐車場整備を充実	325	24.7%
5	街なかや地域の商業施設の活性化に配慮	239	18.2%
6	これ以上出店して欲しくない	32	2.4%
7	特に対策は必要ない	68	5.2%
8	その他	23	1.7%
—	無回答	40	3.0%
—	計	1316	100.0%

図 2- 34 幹線道路沿いに整備される大型スーパーやホームセンター



(8) 重点的に活用、整備すべき場所や資源（複数回答）（問 26）

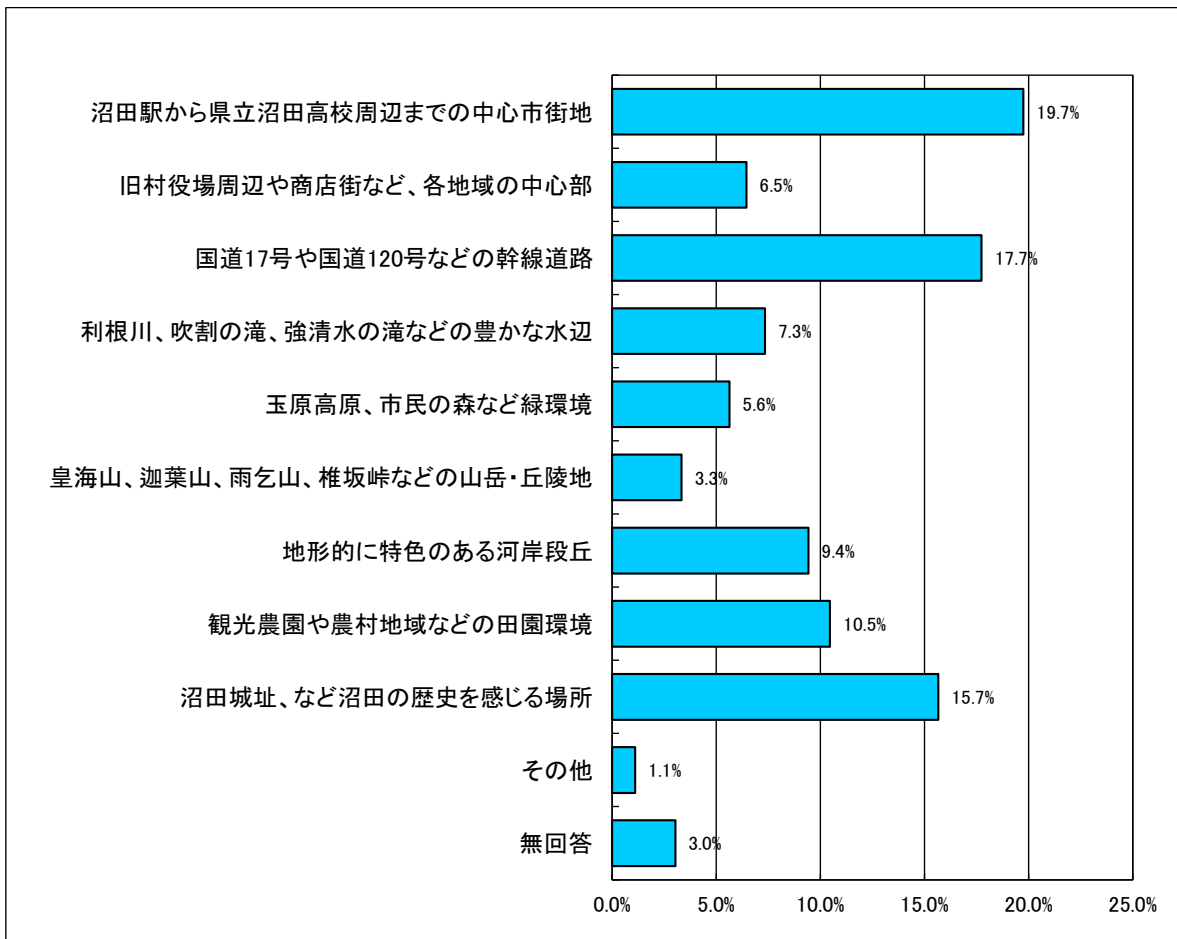
● 中心市街地を重点的に活用、整備すべき場所とする回答が最も多い

沼田市全体の活性化や魅力付けで重点的に活用、整備すべき場所や資源は、「沼田駅から県立沼田高校周辺までの中心市街地」とする回答が 19.7%と最も多くなっています。次いで、「国道 17 号や国道 120 号などの幹線道路」の 17.7%、「沼田城などの沼田の歴史を感じる場所」の 15.7%と続いています。

表 2- 33 沼田市全体の活性化や魅力付けで、重点的に活用、整備すべき場所や資源

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	沼田駅から県立沼田高校周辺までの中心市街地	266	19.7%
2	旧村役場周辺や商店街など、各地域の中心部	87	6.5%
3	国道17号や国道120号などの幹線道路	239	17.7%
4	利根川、吹割の滝、強清水の滝などの豊かな水辺	99	7.3%
5	玉原高原、市民の森など緑環境	76	5.6%
6	皇海山、迦葉山、雨乞山、椎坂峠などの山岳・丘陵地	45	3.3%
7	地形的に特色のある河岸段丘	127	9.4%
8	観光農園や農村地域などの田園環境	141	10.5%
9	沼田城址、など沼田の歴史を感じる場所	211	15.7%
10	その他	15	1.1%
—	無回答	41	3.0%
—	計	1347	100.0%

図 2- 35 沼田市全体の活性化や魅力付けで、重点的に活用、整備すべき場所や資源



## 5. 沼田市の都市基盤整備

### (1) 道路・交通について重点的に取り組むこと（複数回答）（問 27）

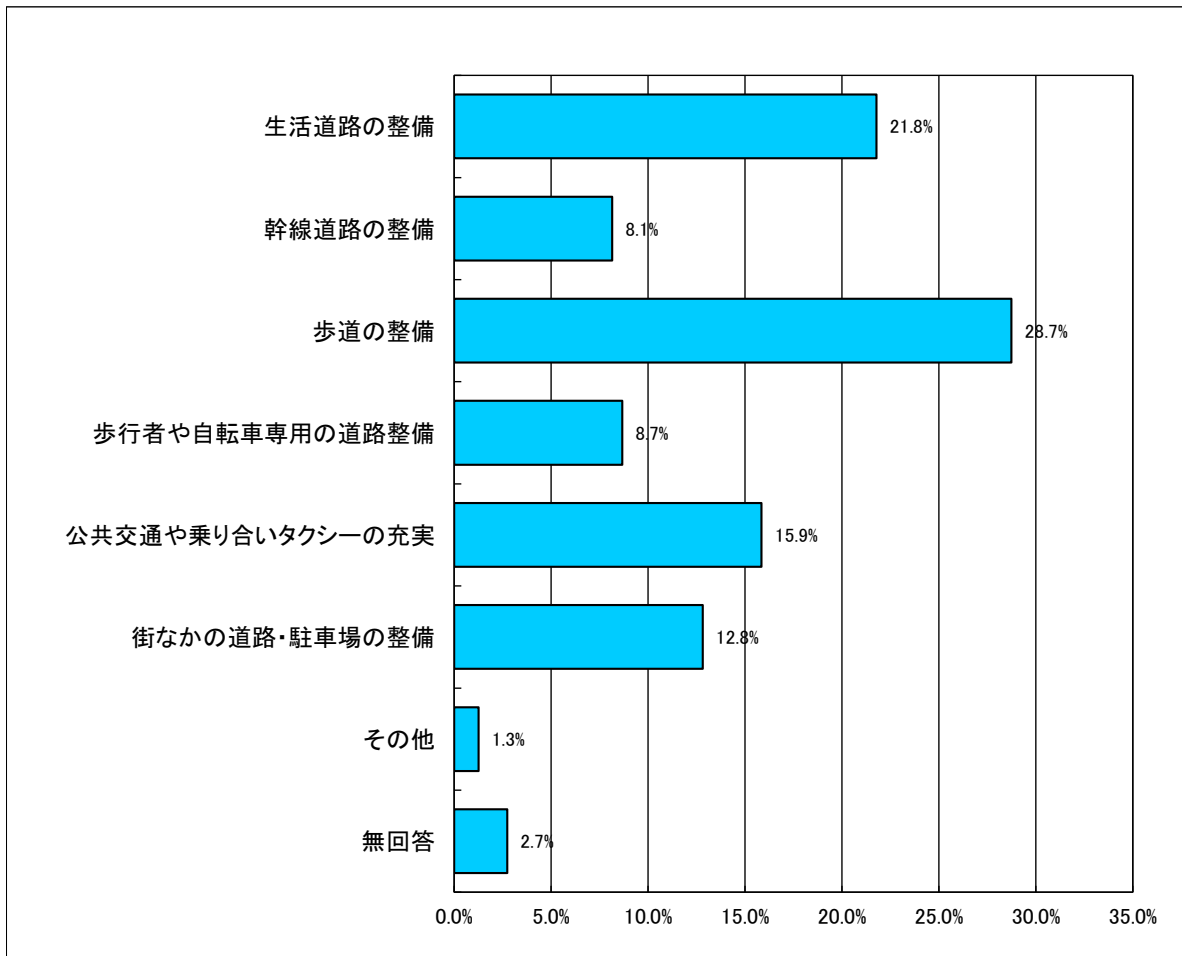
#### ●歩道の整備や生活道路の整備を重点的に取り組むことが望まれている

道路・交通については、「歩道の整備」を重点的に取り組むこととする回答が 28.7%と最も多くなっています。次いで「生活道路の整備」の 21.8%、「公共交通や乗合タクシーの充実」の 15.9%と続いています。

表 2- 34 道路・交通について重点的に取り組むこと

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	生活道路の整備	294	21.8%
2	幹線道路の整備	110	8.1%
3	歩道の整備	388	28.7%
4	歩行者や自転車専用の道路整備	117	8.7%
5	公共交通や乗り合いタクシーの充実	214	15.9%
6	街なかの道路・駐車場の整備	173	12.8%
7	その他	17	1.3%
—	無回答	37	2.7%
—	計	1350	100.0%

図 2- 36 道路・交通について重点的に取り組むこと



(2) 公園や広場、市街地の緑化について重点的に取り組むこと（複数回答）（問 28）

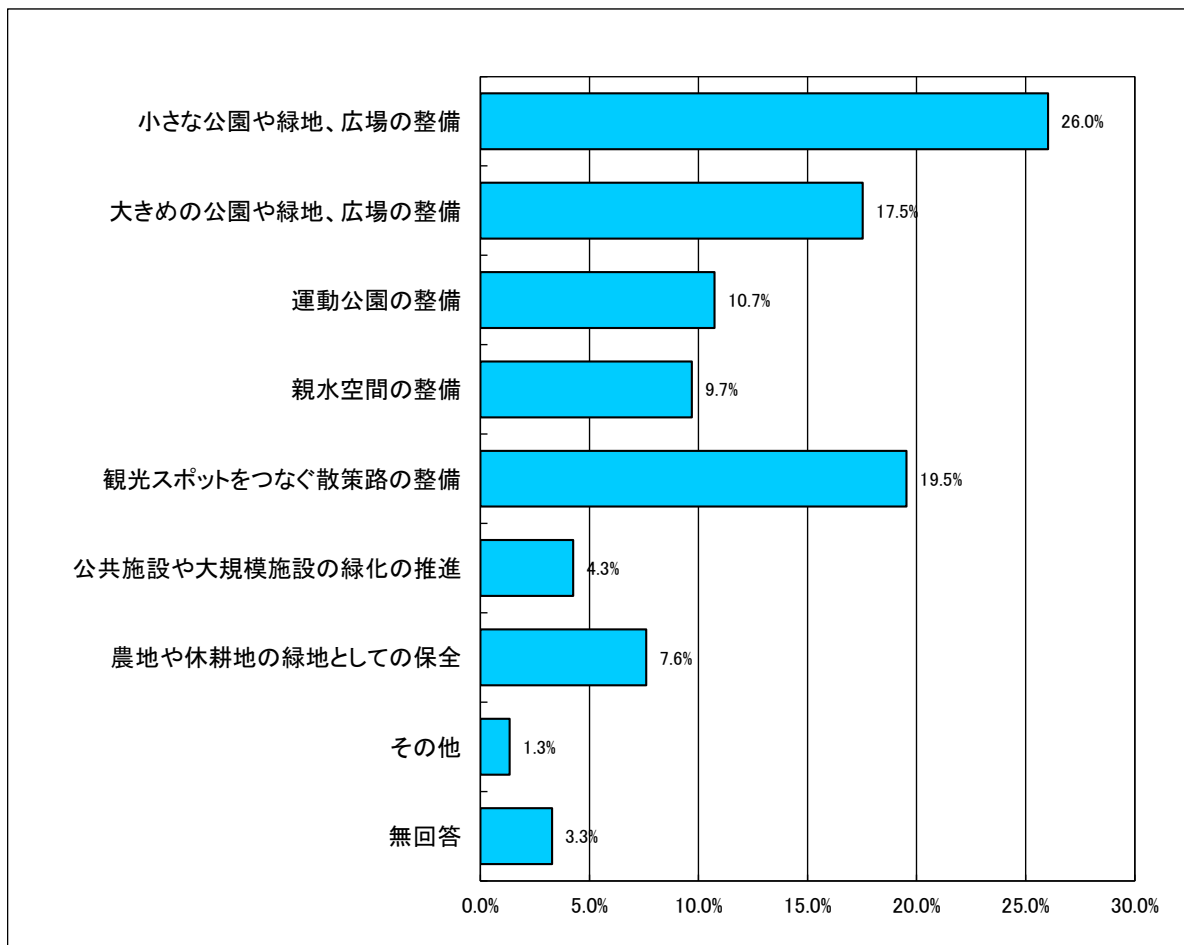
●身近に利用できる小さな公園や広場の整備が望まれている

公園や広場、市街地の緑化については、「小さな公園や緑地、広場の整備」を重点的に取り組むこととする回答が 26.0%と最も多くなっています。次いで、「観光スポットをつなぐ散策路の整備」の 19.5%、「大きめの公園や緑地、広場の整備」の 17.5%と続いています。

表 2- 35 公園や広場、市街地の緑化について重点的に取り組むこと

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	小さな公園や緑地、広場の整備	349	26.0%
2	大きめの公園や緑地、広場の整備	235	17.5%
3	運動公園の整備	144	10.7%
4	親水空間の整備	130	9.7%
5	観光スポットをつなぐ散策路の整備	262	19.5%
6	公共施設や大規模施設の緑化の推進	57	4.3%
7	農地や休耕地の緑地としての保全	102	7.6%
8	その他	18	1.3%
—	無回答	44	3.3%
—	計	1341	100.0%

図 2- 37 公園や広場、市街地の緑化について重点的に取り組むこと



(3) 防災について重点的に取り組むこと（複数回答）（問 29）

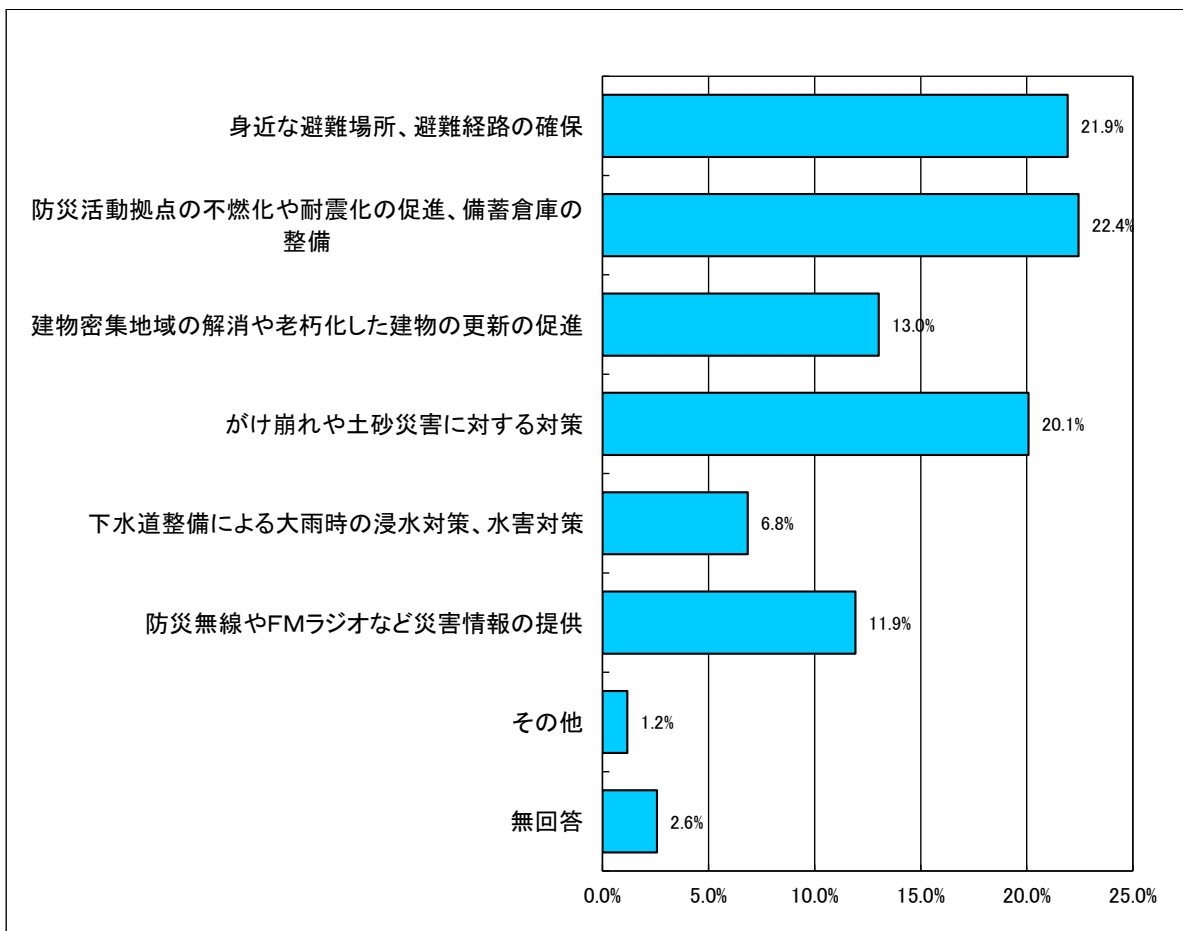
●防災拠点や備蓄倉庫の整備、身近な避難場所や避難経路の確保、がけ崩れや土砂災害への対策が望まれている

防災については、「防災活動拠点の不燃化や耐震化の促進、備蓄倉庫の整備」を重点的に取り組むべきとする回答が 22.4%と最も多くなっています。次いで、「身近な避難場所、避難経路の確保」の 21.9%、「がけ崩れや土砂災害に対する対策」の 20.1%と続いています。

表 2- 36 防災について重点的に取り組むこと

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	身近な避難場所、避難経路の確保	298	21.9%
2	防災活動拠点の不燃化や耐震化の促進、備蓄倉庫の整備	305	22.4%
3	建物密集地域の解消や老朽化した建物の更新の促進	177	13.0%
4	がけ崩れや土砂災害に対する対策	273	20.1%
5	下水道整備による大雨時の浸水対策、水害対策	93	6.8%
6	防災無線やFMラジオなど災害情報の提供	162	11.9%
7	その他	16	1.2%
—	無回答	35	2.6%
—	計	1359	100.0%

図 2- 38 防災について重点的に取り組むこと





(4) 沼田の景観づくりについて重点的に取り組むこと（複数回答）（問 30）

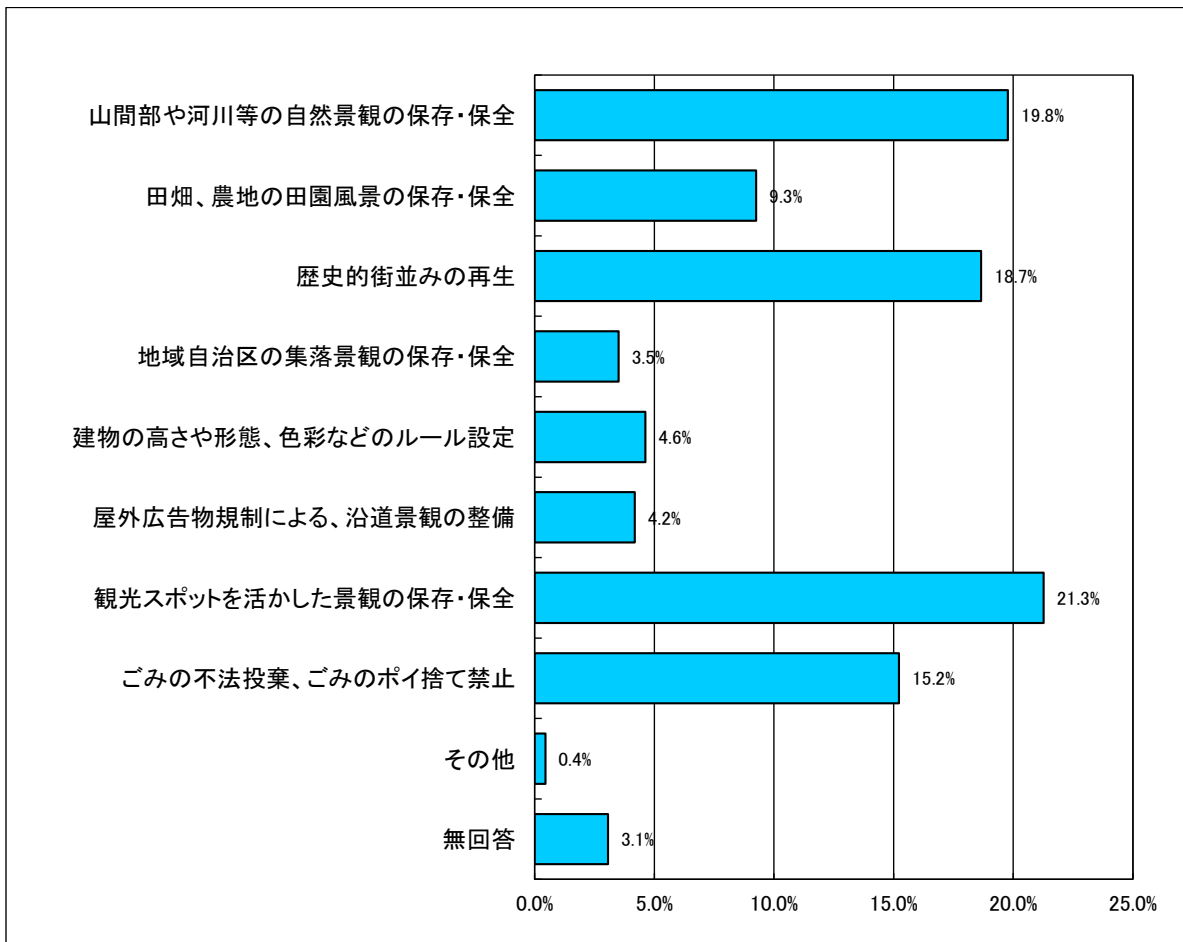
●観光スポットの活用、山間部の河川等の自然景観の保存・保全、歴史的街並みの再生を重視

沼田の景観づくりについて、「観光スポットを活かした景観の保存・保全」を重点的に取り組むこととする回答が 21.3%と 2 割を超えて最も多くなっています。次いで「山間部や河川等の自然景観の保存・保全」の 19.8%、「歴史的街並みの再生」の 18.7%と続いています。

表 2- 37 沼田の景観づくりについて重点的に取り組むこと

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	山間部や河川等の自然景観の保存・保全	265	19.8%
2	田畑、農地の田園風景の保存・保全	124	9.3%
3	歴史的街並みの再生	250	18.7%
4	地域自治区の集落景観の保存・保全	47	3.5%
5	建物の高さや形態、色彩などのルール設定	62	4.6%
6	屋外広告物規制による、沿道景観の整備	56	4.2%
7	観光スポットを活かした景観の保存・保全	285	21.3%
8	ごみの不法投棄、ごみのポイ捨て禁止	204	15.2%
9	その他	6	0.4%
—	無回答	41	3.1%
—	計	1340	100.0%

図 2- 39 沼田の景観づくりについて重点的に取り組むこと



(5) 大切にしたい景観（自由回答、キーワード集計）（問 31）

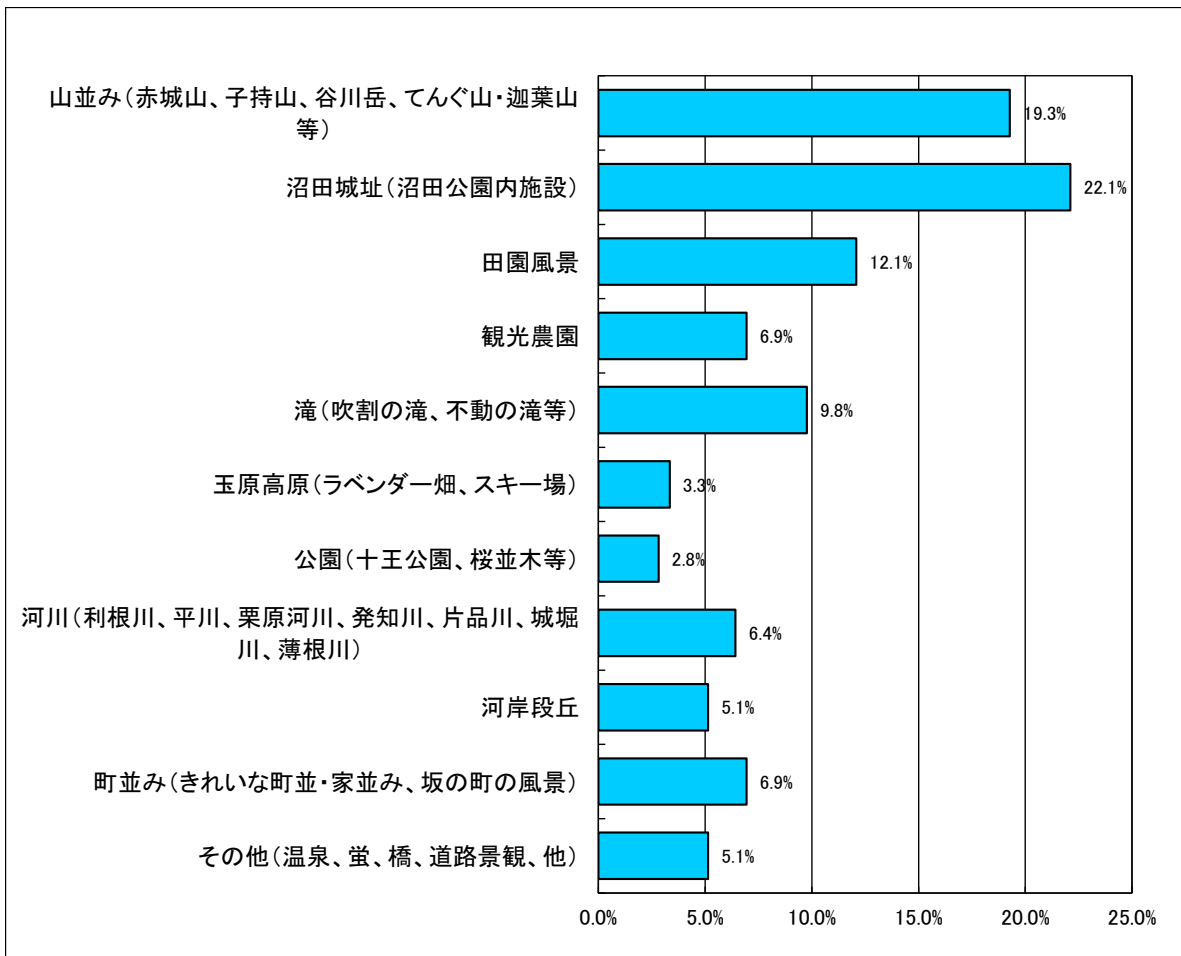
● 沼田城址が最も多く、山並みや田園景観といった自然景観が続く

大切にしたい景観は「沼田城址」が 22.1%と最も多くなっています。次いで、「山並み」の 19.3%、「田園景観」の 12.1%と続いています。

表 2- 38 大切にしたい景観

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	山並み(赤城山、子持山、谷川岳、てんぐ山・迦葉山等)	75	19.3%
2	沼田城址(沼田公園内施設)	86	22.1%
3	田園風景	47	12.1%
4	観光農園	27	6.9%
5	滝(吹割の滝、不動の滝等)	38	9.8%
6	玉原高原(ラベンダー畑、スキー場)	13	3.3%
7	公園(十王公園、桜並木等)	11	2.8%
8	河川(利根川、平川、栗原河川、発知川、片品川、城堀川、薄根川)	25	6.4%
9	河岸段丘	20	5.1%
10	町並み(きれいな町並・家並み、坂の町の風景)	27	6.9%
—	その他(温泉、蛍、橋、道路景観、他)	20	5.1%
—	計	389	100.0%

図 2- 40 大切にしたい景観



## 6. 将来の沼田市の暮らしやすさやまちづくりへの参加

### (1) 概ね 10～20 年後の暮らしたいまち（複数回答）（問 32）

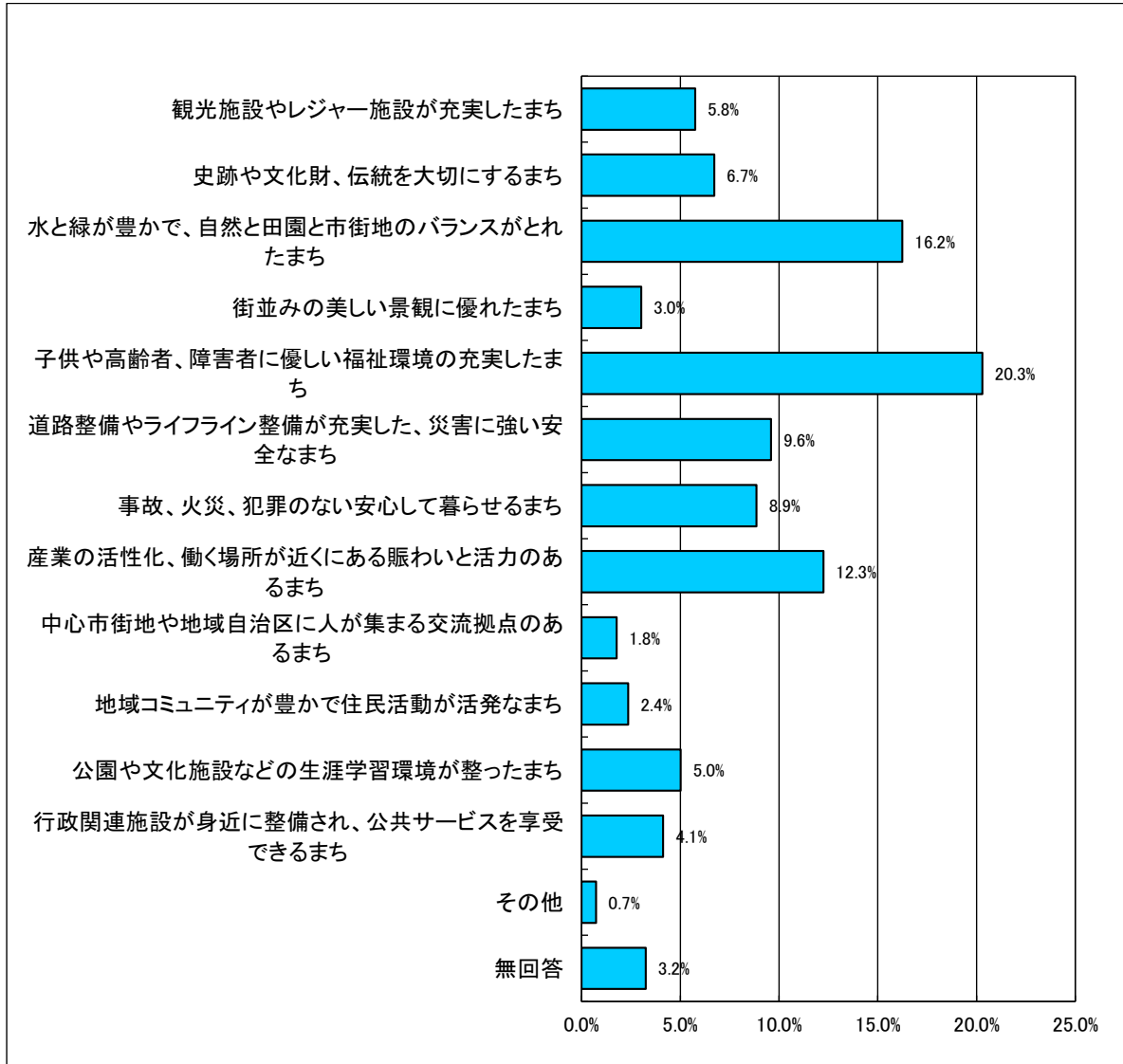
#### ●子どもや高齢者、障がい者、誰にでも優しい福祉の充実したまちが望まれている

概ね 10 年から 20 年後の暮らしたいまちは、「子どもや高齢者、障がい者に優しい福祉環境の充実したまち」とする回答が 20.3%と約 2 割を占めて最も多くなっています。次いで「水と緑が豊かで、自然と田園と市街地のバランスがとれたまち」の 16.2%、「産業の活性化、働く場所が近くにある賑わいと活力のあるまち」の 12.3%と続いています。

表 2- 39 概ね 10～20 年後の暮らしたいまち

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	観光施設やレジャー施設が充実したまち	78	5.8%
2	史跡や文化財、伝統を大切にすまち	91	6.7%
3	水と緑が豊かで、自然と田園と市街地のバランスがとれたまち	220	16.2%
4	街並みの美しい景観に優れたまち	41	3.0%
5	子供や高齢者、障害者に優しい福祉環境の充実したまち	275	20.3%
6	道路整備やライフライン整備が充実した、災害に強い安全なまち	130	9.6%
7	事故、火災、犯罪のない安心して暮らせるまち	120	8.9%
8	産業の活性化、働く場所が近くにある賑わいと活力のあるまち	166	12.3%
9	中心市街地や地域自治区に人が集まる交流拠点のあるまち	24	1.8%
10	地域コミュニティが豊かで住民活動が活発なまち	32	2.4%
11	公園や文化施設などの生涯学習環境が整ったまち	68	5.0%
12	行政関連施設が身近に整備され、公共サービスを楽しむまち	56	4.1%
13	その他	10	0.7%
—	無回答	44	3.2%
—	計	1355	100.0%

図 2- 41 概ね 10～20 年後の暮らしたいまち



(2) 沼田市のまちづくりを進める上で市民が取り組めること（複数回答）（問 33）

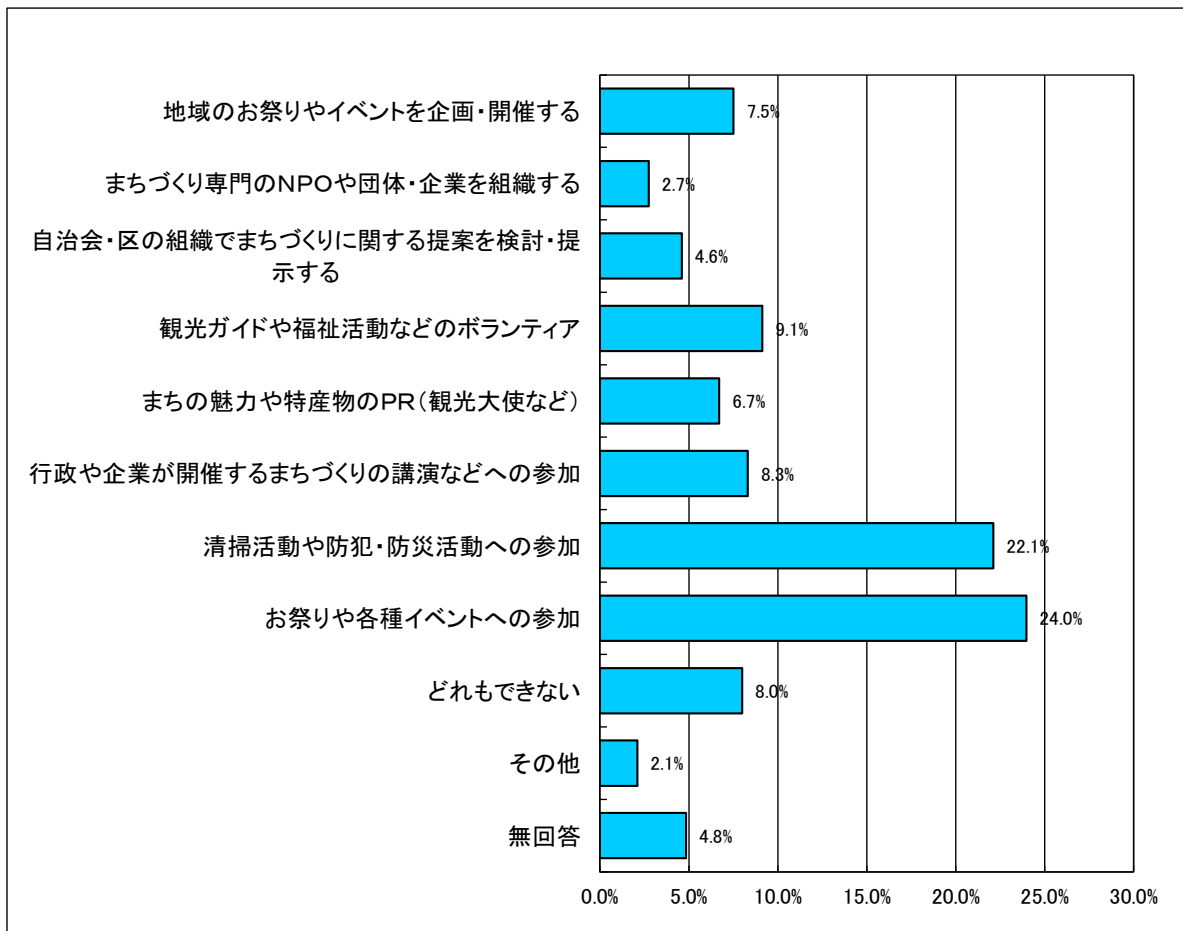
●お祭りやイベント、清掃活動や防犯・防災活動への参加に取り組めることにあげている

沼田市のまちづくりを進める上で「お祭りや各種イベントへの参加」に取り組めることとした回答が 24.0%と最も多くなっています。次いで、「清掃活動や防犯・防災活動への参加」の 22.1%、「観光ガイドや福祉活動などのボランティア」の 9.1%と続いています。

表 2- 40 沼田市のまちづくりを進める上で市民が取り組めること

回答番号	回答内容	回答数	構成比
1	地域のお祭りやイベントを企画・開催する	93	7.5%
2	まちづくり専門のNPOや団体・企業を組織する	34	2.7%
3	自治会・区の組織でまちづくりに関する提案を検討・提示する	57	4.6%
4	観光ガイドや福祉活動などのボランティア	113	9.1%
5	まちの魅力や特産物のPR(観光大使など)	83	6.7%
6	行政や企業が開催するまちづくりの講演などへの参加	103	8.3%
7	清掃活動や防犯・防災活動への参加	274	22.1%
8	お祭りや各種イベントへの参加	297	24.0%
9	どれもできない	99	8.0%
10	その他	26	2.1%
—	無回答	60	4.8%
—	計	1239	100.0%

図 2- 42 沼田市のまちづくりを進める上で市民が取り組めること



## 7. 自由意見

### (1) 自由意見（自由回答）

#### ●都市基盤整備や交通に関する意見、都市的土地利用に関する意見が多くを占める

自由意見については、704人中384人から何らかの意見（「特になし」などを含む）がありました。

意見の内容を分野別に集計すると、「都市的土地利用に関する意見」が21.8%、「都市基盤整備、交通に関する意見」が27.1%、「市街地開発に関する意見」が0.6%、「自然環境、景観に関する意見」が8.2%、「その他の意見」が50.8%となっています。

なお、意見の内容について、

「都市的土地利用に関する意見」では、

- ・空き地・空き店舗
- ・人が集まれる場所
- ・歩いて便利なまち などに関する意見がみられました。

「都市基盤整備、交通に関する意見」では、

- ・子どもの遊び場（公園）
- ・歩道の確保
- ・まちなかの駐車場
- ・公共交通の充実 などに関する意見がみられました。

「市街地開発に関する意見」では、

- ・グリーンベル整備に対する要望
- ・今後の積極的な開発は不要 などの意見がみられました。

「自然環境、景観に関する意見」では、

- ・歴史的な街並み
- ・自然環境・景観のすばらしさ
- ・自然を活かした観光 などに関する意見がみられました。

「その他の意見」では、

- ・除雪の充実
- ・味噌饅頭などの特産物
- ・コミュニティ などに関する意見が見られました。

表 2- 41 自由意見の分野別集計表

分野	意見数	意見率
都市的土地利用に関する意見	77	21.8%
都市基盤整備、交通に関する意見	96	27.1%
市街地開発に関する意見	2	0.6%
自然環境、景観に関する意見	29	8.2%
その他の意見	180	50.8%
合計（回答者数 354 名）	384	108.5%

注) 複数の分野に跨がる意見があるため回答率の合計は 100%を超えている